

子ども・子育て支援事業ニーズ調査結果

平成26年3月

神石高原町

## 目 次

1	調査の概要	1
2	調査結果の概要	2
(1)	回答者自身のことや家族について	2
(2)	父親，母親の就労状況	7
(3)	子育てと仕事の両立について	11
(4)	町が実施している子育て支援サービスについて	14
(5)	就学前の子どもの子育てについて	24
(5)-1	平日の定期的な教育・保育事業について	24
(5)-2	地域子育て支援拠点事業について	29
(5)-3	土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業について	30
(5)-4	病気の際の対応について（平日に定期的な教育・保育事業 を利用している人）	32
(5)-5	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について	34
(5)-6	小学生になった時の放課後の過ごし方について	35
(6)	小学生の子どもの子育てについて	37
(7)	自由意見	43

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

本町では、平成22年3月に「次世代育成支援行動計画（後期計画）」を策定し、子どもの健全な育成や子育て支援対策の充実に取り組んでいます。しかし、依然として出生数の減少が継続しており、一層の取り組みが求められています。このため、保護者アンケート調査を実施し、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」の策定を行う上での参考とすることとしました。

### (2) 調査の対象

調査の対象は0歳～小学校6年生の子どものいる保護者全員です。

### (3) 調査の内容

調査の内容は、回答者自身のことや家族のこと、父親、母親の就労状況、子育てと仕事の両立に関する事、町が実施している子育て支援サービスに関する事、就学前及び小学生の子どもの子育てに関する事です。

### (4) 調査の方法

調査の方法は次のとおりです。

- ・ 託児所、保育所、幼稚園及び小学校に通っている子どもがいる保護者には、保育・教育施設を通じての配布回収。
- ・ 上記の施設に通っている子どもがいない保護者には、郵送での配布回収。

### (5) 調査の期間

調査の期間は、平成26年2月25日(月)～3月14日(金)までとしましたが、できるだけ多くの方の意見を参考にするため、平成26年3月31日(月)までに回収した調査票を有効としました。

### (6) 調査票の回収状況

調査票の回収状況は、保護者389件でした。

## 2 調査結果の概要

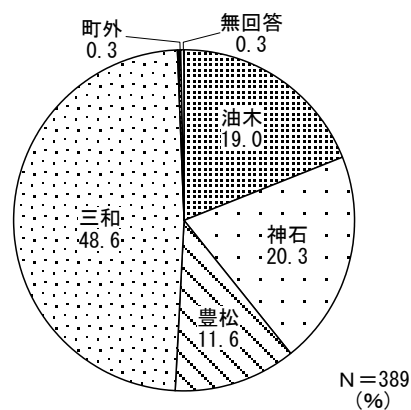
### (1) 回答者自身のことや家族について

#### ア 住まい先

回答者の住まい先は、「三和地区」が48.6%で最も割合が高く、次いで「神石地区」20.3%、「油木地区」19.0%、「豊松地区」11.6%の順です。

「町外」と答えた人は、出産・子育てで一時的に帰郷している人です。

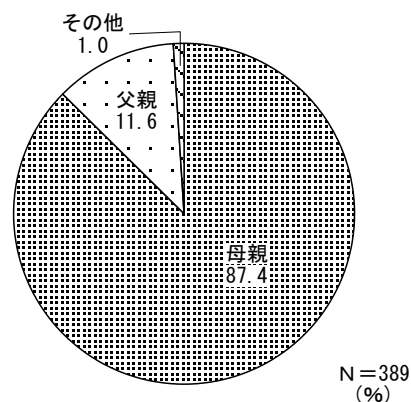
図 住まい先



#### イ 子どもとの続柄

回答者の子どもとの続柄は、「母親」が87.4%、「父親」11.6%、「その他」1.0%で、母親がほとんどを占めています。

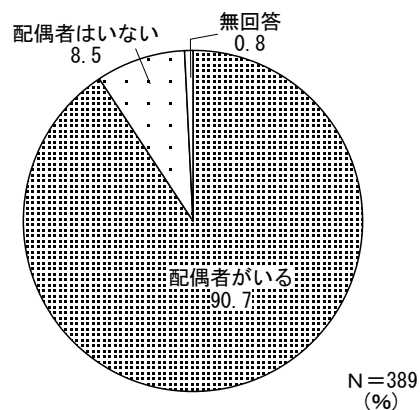
図 回答者



#### ウ 配偶者の有無

配偶者については、「配偶者がいる」と答えた人が90.7%でほとんどを占めています。

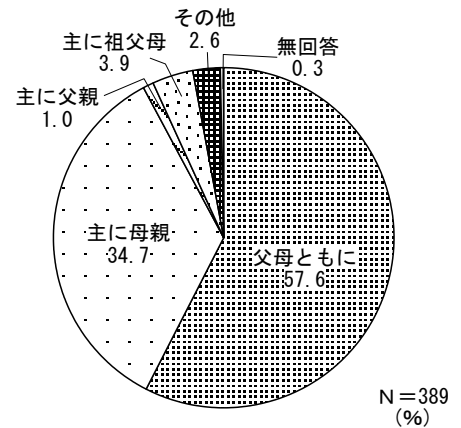
図 配偶者の有無



### エ 子育てを主に行っている人

子育てを主に行っている人は、「父母ともに」と答えた人が57.6%で最も割合が高く、次いで「主に母親」34.7%、「主に祖父母」3.9%、「主に父親」1.0%の順で、主に父親と母親で子育てを行っていると答えた人が9割以上になっています。

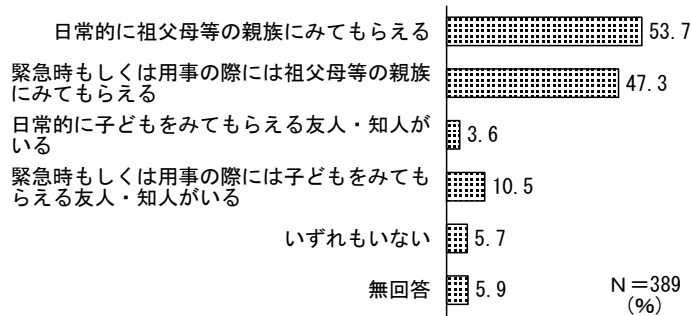
図 子育てを主に行っている人



### オ 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

子どもをみてもらえる親族・知人の有無をみると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人が53.7%で最も割合が高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」47.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」10.5%の順です。一方、「いずれもない」と答えた人は5.7%で、緊急時もしくは用事の際には親族・知人に子どもをみてもらえる人がほとんどを占めています。

図 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答：いくつでも）

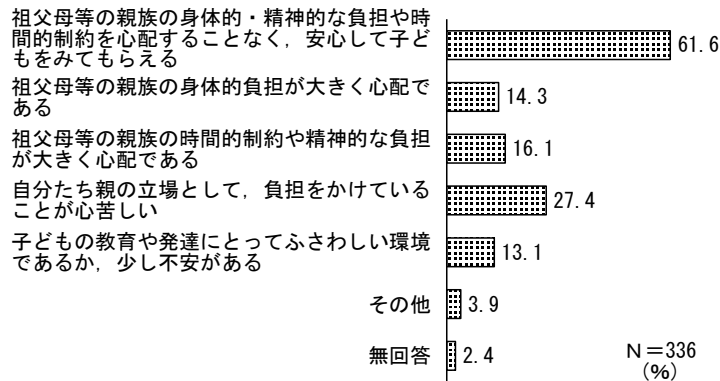


#### カ 親族に子どもをみてもらっている状況について

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人の親族に子どもをみてもらっている状況は次のとおりです。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的な制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と答えた人が61.6%で最も割合が高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」27.4%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」16.1%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」14.3%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」13.1%等の順です。

図 親族に子どもをみてもらっている状況について（複数回答：いくつでも）

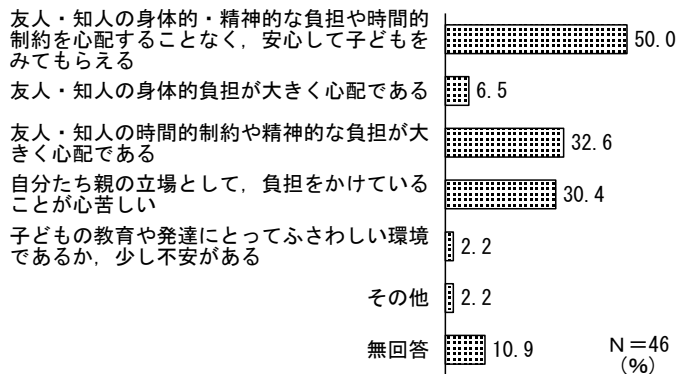


#### キ 友人・知人に子どもをみてもらっている状況について

「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と答えた人の友人・知人に子どもをみてもらっている状況は次のとおりです。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と答えた人が50.0%で最も割合が高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」32.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」30.4%等の順です。

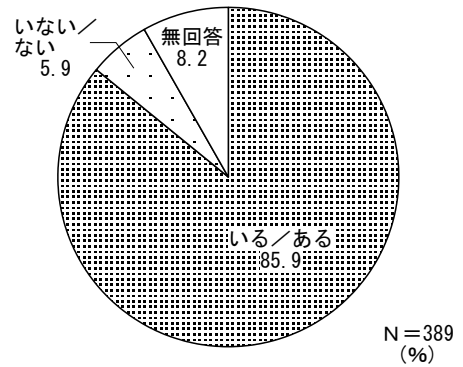
図 友人・知人に子どもをみてもらっている状況について（複数回答：いくつでも）



ク 子育ての相談をできる人・場所の有無

子育てする上での相談を気軽にできる人または場所について「いる／ある」と答えた人が85.9%でほとんどを占めています。一方、「いない／ない」と答えた人が5.9%，実数で23件となっており，無回答を含めると14.1%，実数で55件となっています。

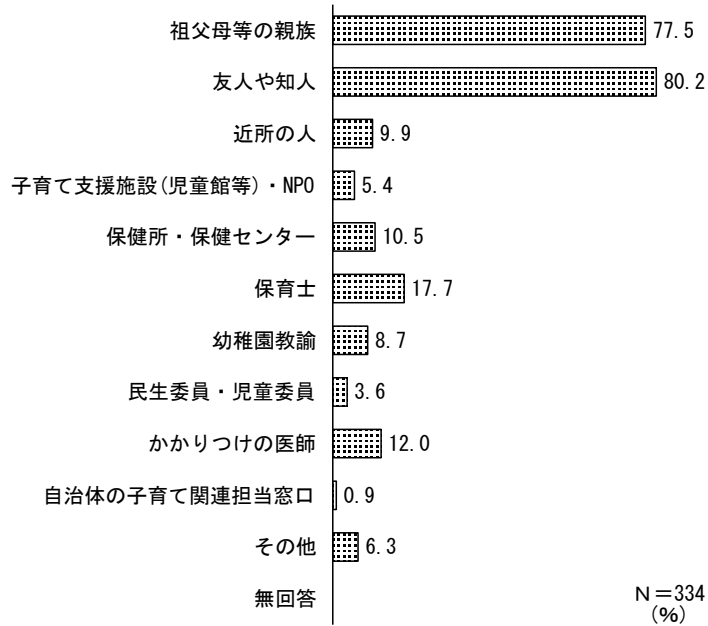
図 子育ての相談をできる人・場所の有無



ケ 子育ての相談をしている人・場所

子育てする上での相談を気軽にできる人または場所について「いる／ある」と答えた人の相談先をみると、「友人や知人」80.2%、「祖父母等の親族」77.5%でこの2項目を挙げた人が大部分を占めています。その他をみると、「保育士」17.7%、「かかりつけの医師」12.0%、「保健所・保健センター」10.5%、「近所の人」9.9%、「幼稚園教諭」8.7%等の順です。

図 子育ての相談をしている人・場所（複数回答：いくつでも）



## コ 子育てする上であればいいと思うサポート

子育てする上であればいいと思うサポートについては101件の意見があり，保育の充実，子育てに係る相談支援の充実，学童保育の充実等が挙げられています。

表 子育てする上であればいいと思うこと

項 目		件数 (件)	
①	子育て情報・体験の場の充実	5	
②	子育てに係る相談支援の充実	17	
③	親相互・親子の交流の場の充実	4	
④	保育の充実	・平日の延長保育（早朝，夜間）	4
		・緊急時，病児・病後児保育	14
		・土曜日・日祝日の保育	5
		・保育内容の充実等	4
		小 計	27
⑤	小中学生の通学手段の充実	3	
⑥	学童保育の充実（開所時間の延長，土曜日・日祝日の実施等）	10	
⑦	学習塾等の充実	5	
⑧	子どもが集まり，交流できる場所の整備	6	
⑨	その他サポートして欲しいこと	16	
⑩	その他の意見	8	
合 計		101	

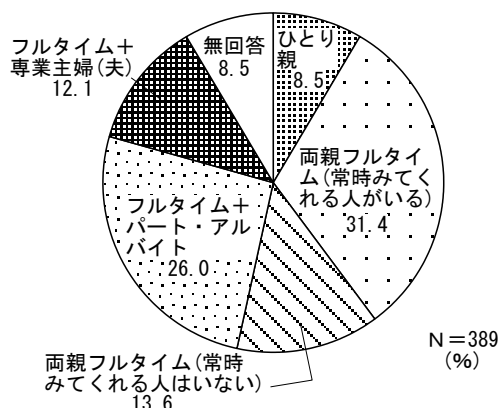


## (2) 父親，母親の就労状況

### ア 家庭類型

母親，父親の就労状況（以下，「家庭類型」という）は，「両親フルタイム（常時みてくれる人がいる）」と答えた人が31.4%で最も割合が高く，次いで「フルタイム+アルバイト」26.0%，「両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）」13.6%，「フルタイム+専業主婦（夫）」12.1%，「ひとり親」8.5%の順で，両親ともにフルタイムが5割弱になっています。

図 家庭類型

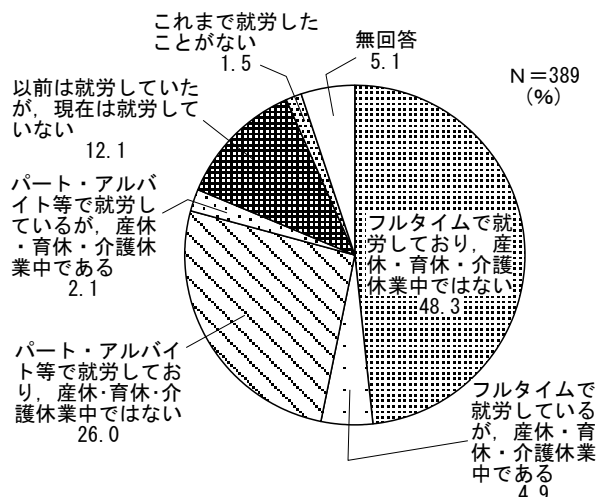


### イ 母親の就労状況

#### (7) 現在の就労状況

母親の現在の就労状況は，「フルタイムで就労しており，産休・育休・介護休業中ではない」と答えた人が48.3%で最も割合が高く，次いで「パート・アルバイト等で就労しており，産休・育休・介護休業中ではない」26.0%，「以前は就労していたが，現在は就労していない」12.1%，「フルタイムで就労しているが，産休・育休・介護休業中である」4.9%等の順で，フルタイムまたはパート・アルバイト等で現在就労中の人が約3/4を占めています。

図 現在の就労状況

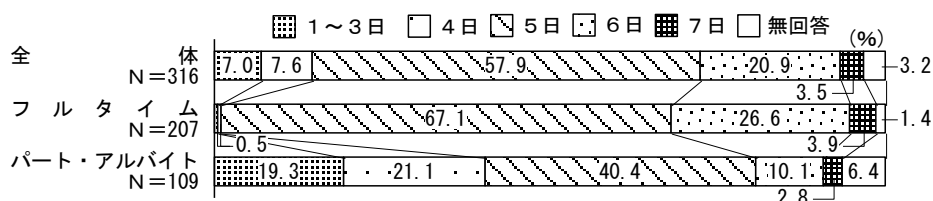


注：フルタイムは、1週5日程度・1日8時間程度の就労。  
パート・アルバイト等は、「フルタイム」以外の就労。

#### (イ) 1週間の就労日数

就労している人の1週間の就労日数は，フルタイムでは「5日」と答えた人が67.1%で最も割合が高く，次いで「6日」26.5%の順で，週5～6日の人がほとんどを占めています。パート・アルバイトでは「5日」と答えた人が40.4%で最も割合が高く，次いで「4日」21.1%，「1～3日」19.3%，「6日」10.1%等の順で，就労日数は分散しています。

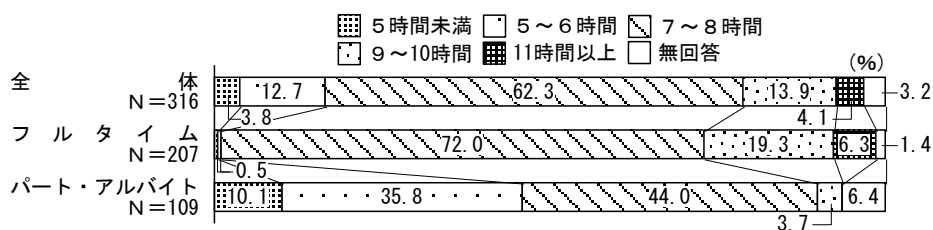
図 1週間の就労日数



(ウ) 1日の就労時間

就労している人の1日の就労時間は、フルタイムでは「7～8時間」と答えた人が72.0%で大部分を占めており、次いで「9～10時間」19.3%等の順です。パート・アルバイトでは「7～8時間」と答えた人が44.0%で最も割合が高く、次いで「5～6時間」35.8%、「5時間未満」10.1%等の順で、5～8時間未満の人が大部分を占めています。

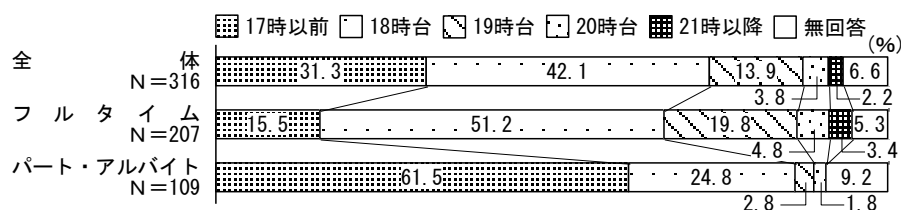
図 1日の就労時間



(エ) 帰宅時刻

就労している人の帰宅時刻は、フルタイムでは「18時台」と答えた人が51.2%で最も割合が高く、次いで「19時台」19.8%、「17時以前」15.5%、「20時台」4.8%、「21時以降」3.4%の順で、19時までに帰宅する人は約2/3です。パート・アルバイトは「17時以前」が61.5%で最も割合が高く、次いで「18時台」24.8%等の順で、19時までに帰宅する人が86.3%とほとんどを占めています。

図 帰宅時刻

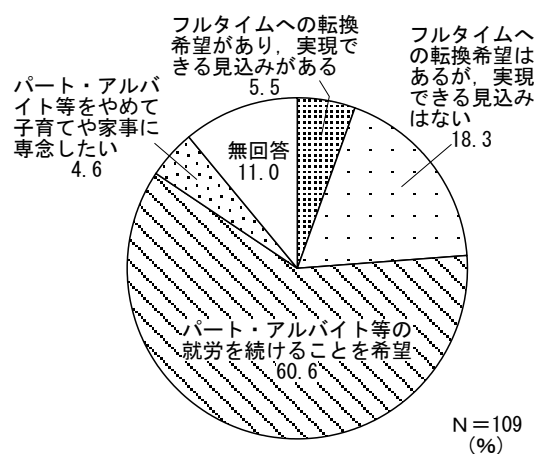


(オ) パート・アルバイト等で就労している人の

フルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」と答えた人が60.6%で最も割合が高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」18.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」5.5%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」4.6%の順です。

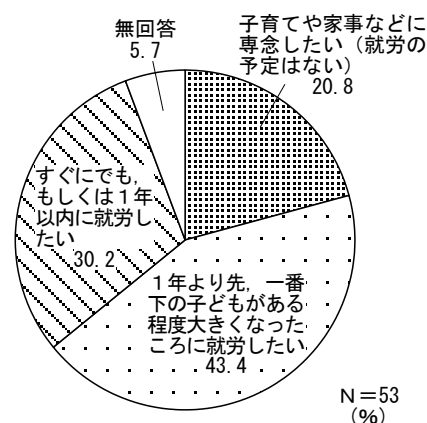
図 フルタイムへの転換希望



(カ) 現在就労していない人の就労意向

現在就労していない人の就労意向は、「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったところに就労したい」と答えた人が43.4%で最も割合が高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」30.2%、「子育てや家事などに専念したい（就労予定はない）」20.8%の順です。

図 就労意向

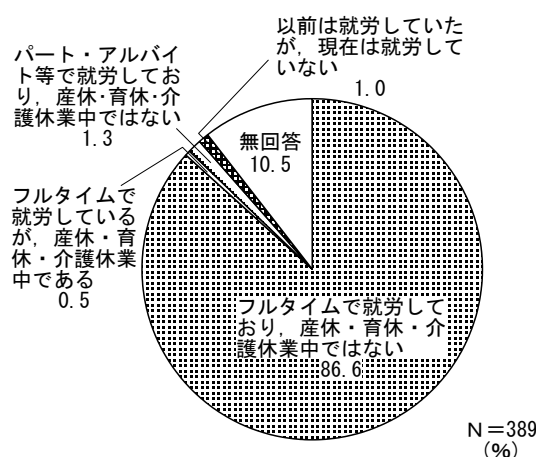


ウ 父親の就労状況

(7) 現在の就労状況

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と答えた人が86.6%でほとんどを占めています。

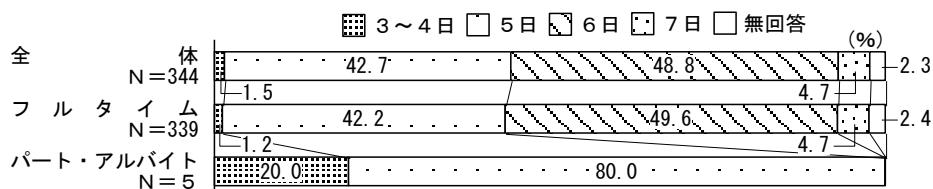
図 現在の就労状況



(イ) 1週間の就労日数

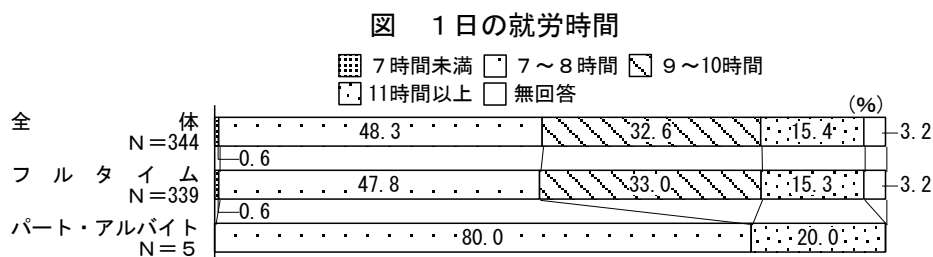
就労している人の1週間の就労日数は、フルタイムでは「6日」と答えた人が49.6%で最も割合が高く、次いで「5日」42.7%の順で、週5～6日の人がほとんどを占めています。パート・アルバイトでは「5日」が80.0%（4人）です。

図 1週間の就労日数



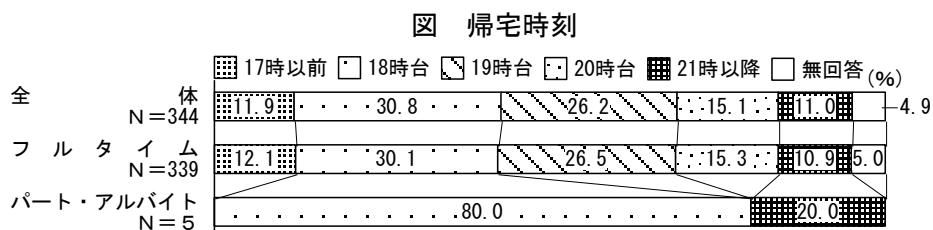
(ウ) 1日の就労時間

就労している人の1日の就労時間は、フルタイムでは「7～8時間」と答えた人が47.8%で最も割合が高く、次いで「9～10時間」33.0%等の順です。パート・アルバイトでは「7～8時間」と答えた人が80.0%（4人）です。



(エ) 帰宅時刻

就労している人の帰宅時刻は、フルタイムでは「18時台」と答えた人が30.1%で最も割合が高く、次いで「19時台」26.5%、「20時台」15.3%、「17時以前」12.1%、「21時以降」10.9%の順で、母親より帰宅時間が遅くなっています。パート・アルバイトでは「18時台」と答えた人が80.0%（4人）です。

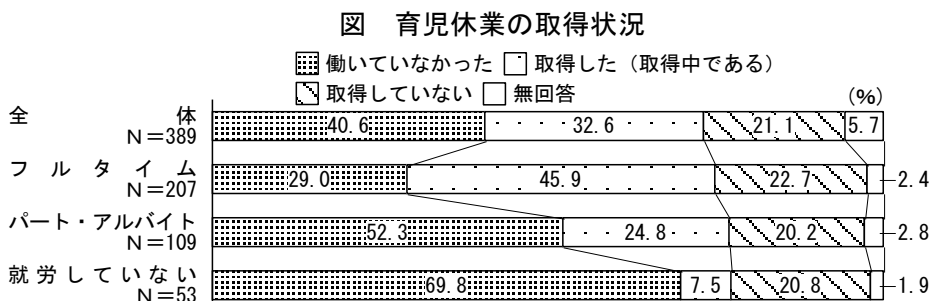


### (3) 子育てと仕事の両立について

#### ア 母親

##### (7) 育児休業の取得状況

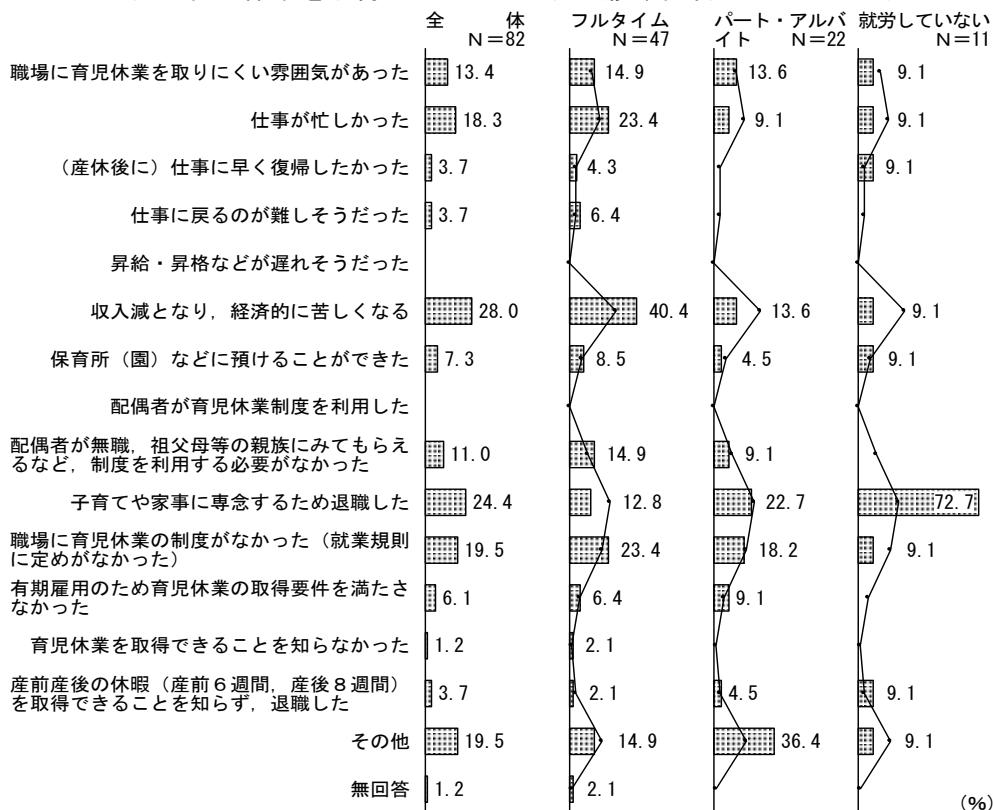
育児休業を「取得していない」と答えた人は、フルタイムで22.7%、パート・アルバイトで20.2%、就労していない20.8%です。



##### (イ) 育児休業を取得しなかった理由

育児休業を取得しなかった理由をみると、フルタイムでは「収入減となり、経済的に苦しくなる」と答えた人が40.4%で最も割合が高く、次いで「仕事が忙しかった」及び「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」23.4%等の順です。パート・アルバイトでは「子育てや家事に専念するために退職した」と答えた人が22.7%で最も割合が高く、次いで「職場に育児休業制度がなかった（就業規則の定めがなかった）」18.2%等の順です。また、その他の内容としては「農業等の自由業のため」と答えた人が多くなっています。就労していない人では「子育てや家事に専念するために退職した」と答えた人が72.7%で大部分を占めています。

**図 育児休業を取得しなかった理由（複数回答：いくつでも）**



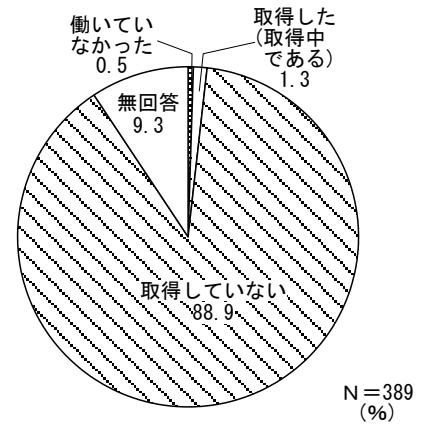
注：折れ線グラフは、全体の割合。

イ 父親

(7) 育児休業の取得状況

育児休業を「取得していない」と答えた人が88.9%でほとんどを占めています。

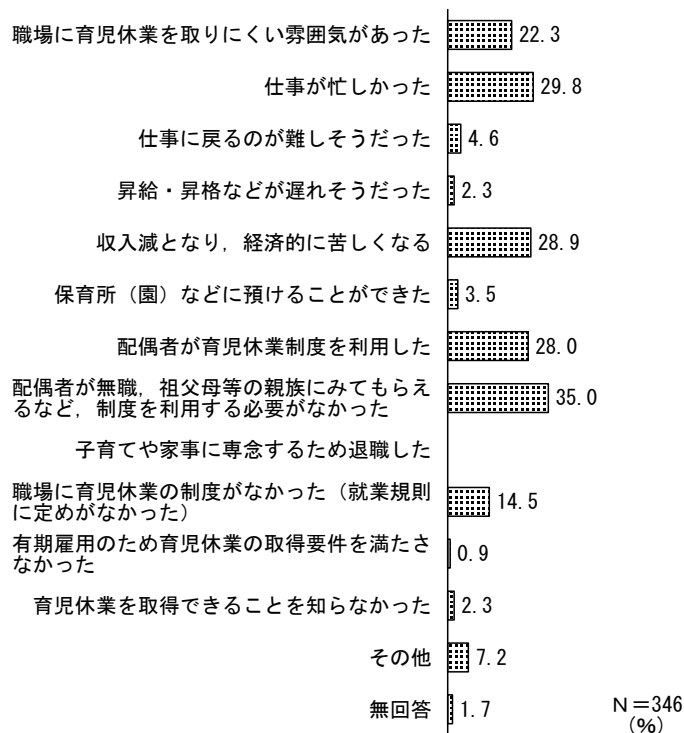
図 育児休業の取得状況



(イ) 育児休業を取得しなかった理由

育児休業を取得しなかった理由としては、「配偶者が無職，祖父母等の親族にみてもらえるなど，制度を利用する必要がなかった」と答えた人が35.0%で最も割合が高く，次いで「仕事が忙しかった」29.8%，「収入減となり，経済的に苦しくなる」28.9%，「配偶者が育児休業制度を利用した」28.0%，「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」22.3%等の順です。

図 育児休業を取得しなかった理由（複数回答：いくつでも）

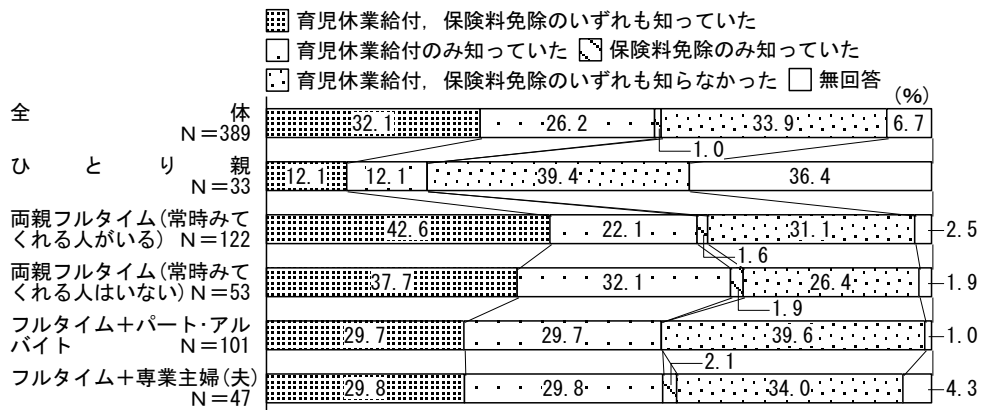


ウ 育児休業給付の支給，健康保険及び厚生年金の保険料免除制度の認知状況

育児休業給付の支給，健康保険及び厚生年金の保険料免除制度の認知状況をみると，「育児休業給付，保険料免除のいずれも知らなかった」と答えた人が33.9%で最も割合が高く，次いで「育児休業給付，保険料免除のいずれも知っていた」32.1%，「育児休業給付のみ知っていた」26.2%等の順です。

家庭類型別に「育児休業給付，保険料免除のいずれも知らなかった」と答えた人をみると，ひとり親，フルタイム＋パートの世帯で約4割と高い割合になっており，その他の家庭類型においても3割前後になっています。

図 育児休業給付の支給，健康保険及び厚生年金の保険料免除制度の認知状況



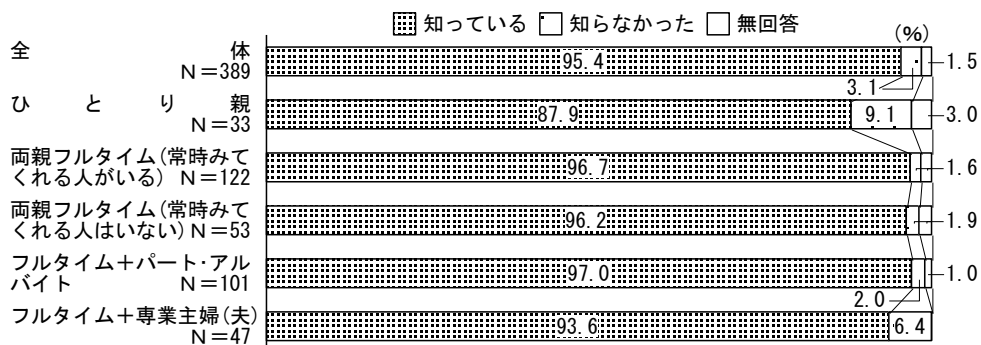
(4) 町が実施している子育て支援サービスについて

ア 乳幼児健診

(7) 認知状況

乳幼児健診を「知っている」と答えた人は95.4%でほとんどを占めており、家庭類型別にみると、ひとり親の世帯で割合がやや低くなっています。

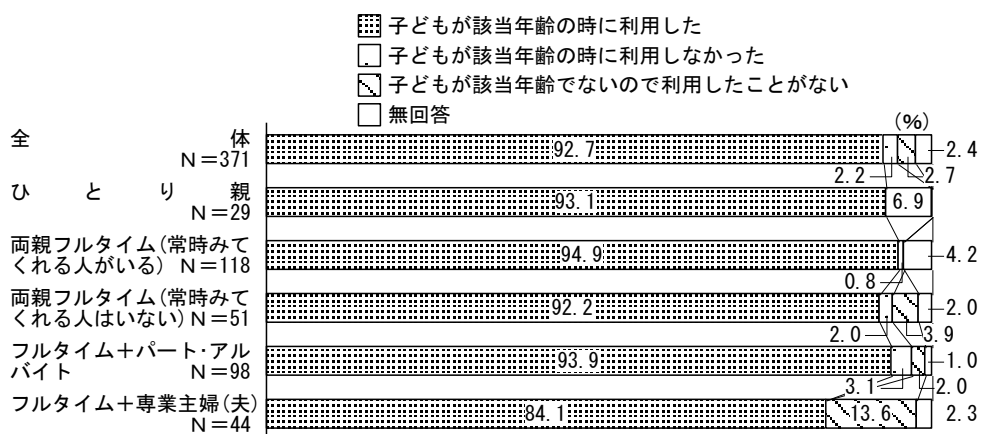
図 認知状況



(イ) 利用状況

乳幼児健診を「子どもが該当年齢の時に利用した」と答えた人は92.7%でほとんどを占めており、家庭類型別にみると、フルタイム+専業主婦(夫)で84.1%と割合がやや低くなっています。

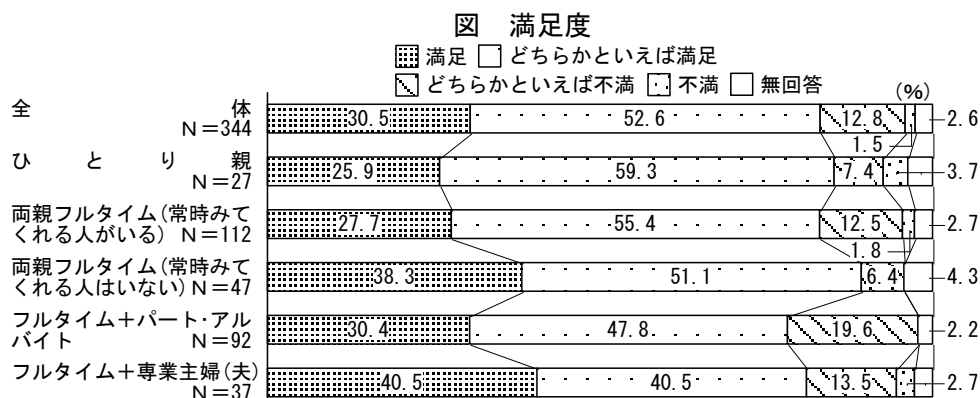
図 利用状況





(ウ) 満足度

乳幼児健診を利用した人の満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）は83.1%で、大部分の人が満足しており、家庭類型別にみると、各家庭類型ともに80%前後です。



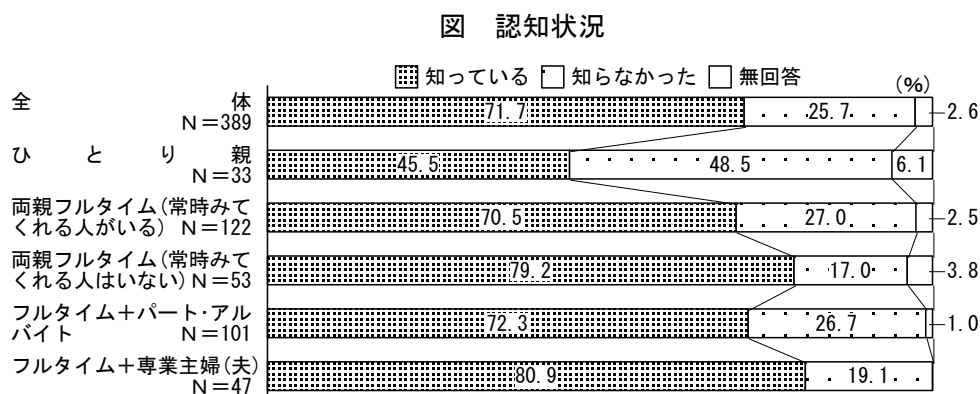
(エ) 不満な理由

乳幼児健診を利用した人で「不満」または「どちらかといえば不満」と答えた人の不満な内容としては、子どもの成長について不安になる言い方をされること、健診内容に関すること、待ち時間が長い、時間がかかること、乳幼児健診が昼寝の時間と重なること、健診時期に関する事などが挙げられています。

イ 離乳食教室・幼児食の個別相談

(7) 認知状況

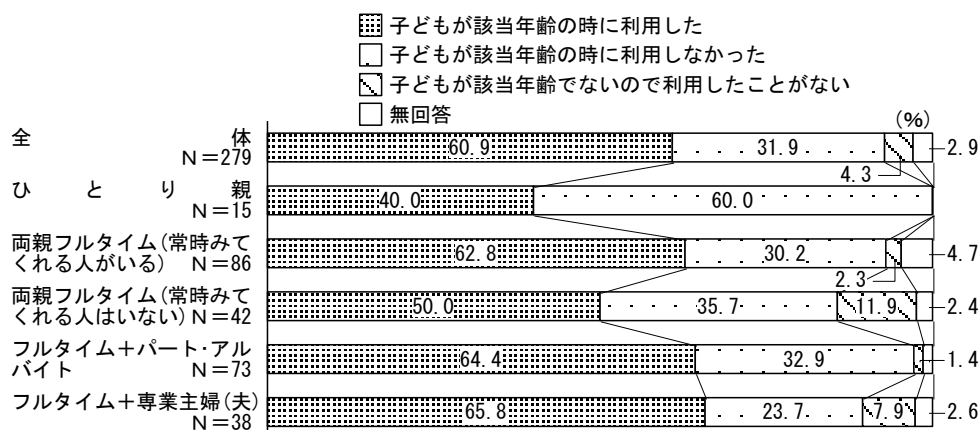
離乳食教室・幼児食の個別相談を「知っている」と答えた人は71.7%で、家庭類型別にみると、ひとり親では45.5%と割合が低くなっています。



(イ) 利用状況

離乳食教室・幼児食の個別相談を「子どもが該当年齢の時に利用した」と答えた人は60.9%で、家庭類型別にみると、ひとり親40.0%、両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）50.0%で、これらの家庭類型で割合が低くなっています。

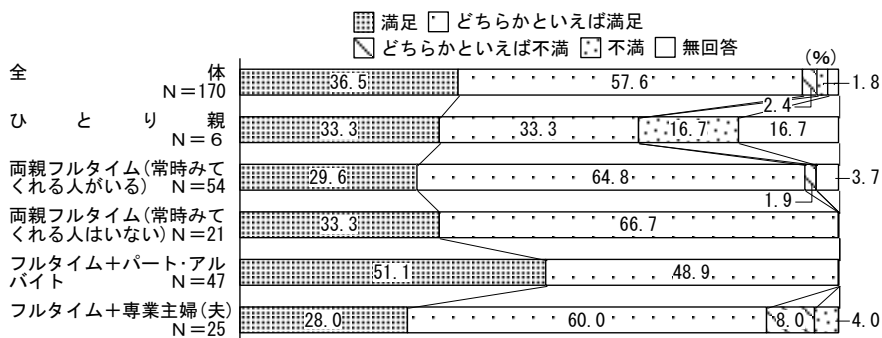
図 利用状況



(ウ) 満足度

離乳食教室・幼児食の個別相談を利用した人の満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）は94.1%でほとんどを占めており、家庭類型別にみると、ひとり親では66.6%と割合が低くなっています。

図 満足度



(エ) 不満な理由

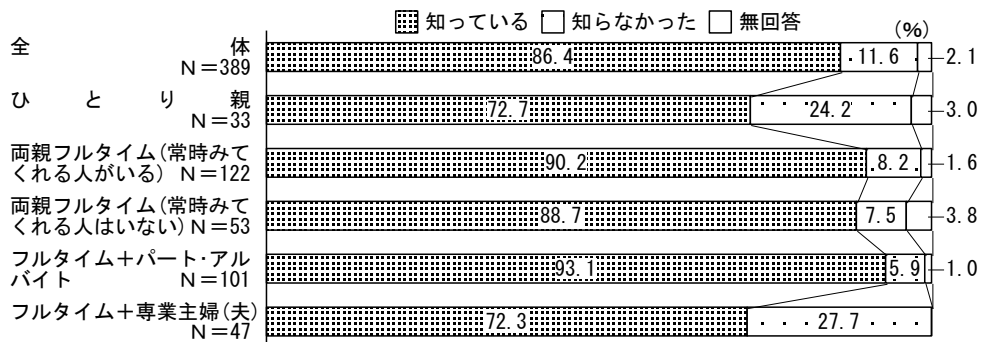
離乳食教室・幼児食の個別相談を利用した人で、「不満」または「どちらかといえば不満」と答えた人の不満な内容としては、指導内容、回数が少ないことなどが挙げられています。

## ウ 幼児等インフルエンザ予防接種事業

### (7) 認知状況

幼児等インフルエンザ予防接種事業を「知っている」と答えた人は86.4%で、家庭類型別にみると、ひとり親とフルタイム+専業主婦(夫)で70%台と割合が低くなっています。

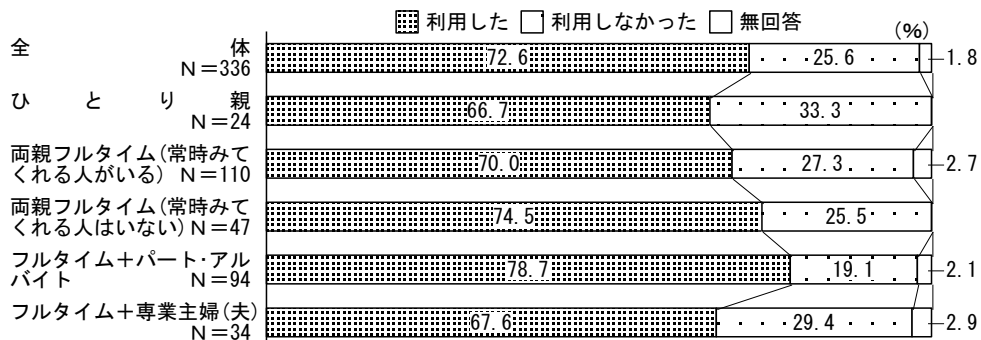
図 認知状況



### (イ) 利用状況

幼児等インフルエンザ予防接種事業を「利用した」と答えた人は72.6%で、家庭類型別にみると、各家庭類型ともに70%前後になっています。

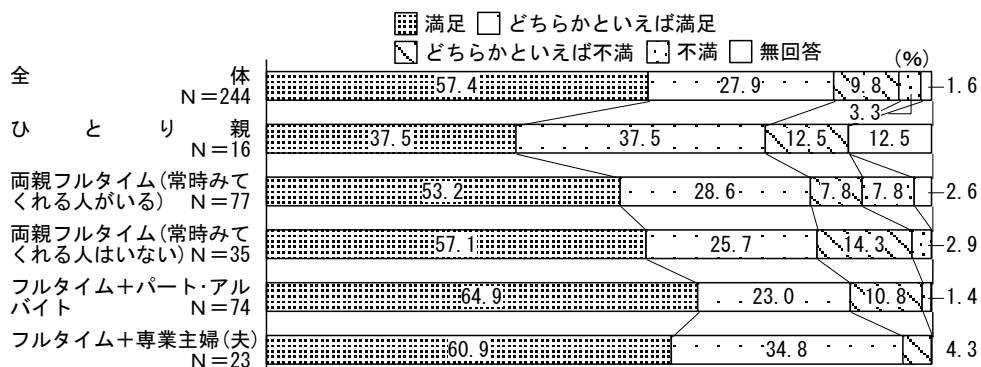
図 利用状況



### (ウ) 満足度

幼児等インフルエンザ予防接種事業を利用した人の満足度(「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合)は85.3%でほとんどを占めており、家庭類型別にみると、ひとり親が75.0%で割合がやや低くなっています。

図 満足度



(イ) 不満な理由

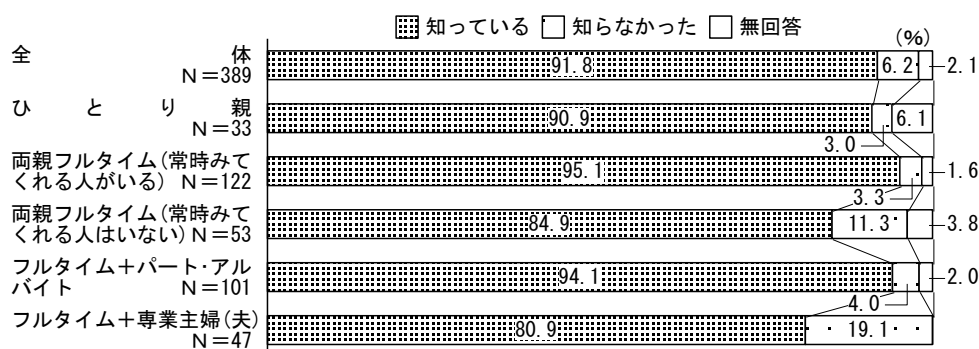
幼児等インフルエンザ予防接種事業を利用した人で、「不満」または「どちらかといえば不満」と答えた人の不満な内容としては、補助額が少ないことを挙げた人が多くなっています。

エ 歯科検診・フッ素塗布・ブラッシング指導

(7) 認知状況

歯科検診・フッ素塗布・ブラッシング指導を「知っている」と答えた人は91.8%でほとんどを占めており、家庭類型別にみると、両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）84.9%、フルタイム+専業主婦(夫)80.9%で、これらの家庭類型で割合がやや低くなっています。

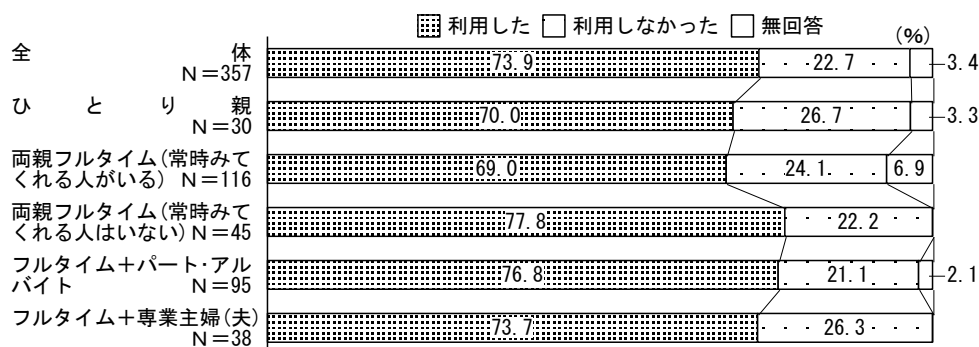
図 認知状況



(イ) 利用状況

歯科検診・フッ素塗布・ブラッシング指導を「利用した」と答えた人は73.9%で、家庭類型別にみると、各家庭類型ともに70%前後です。

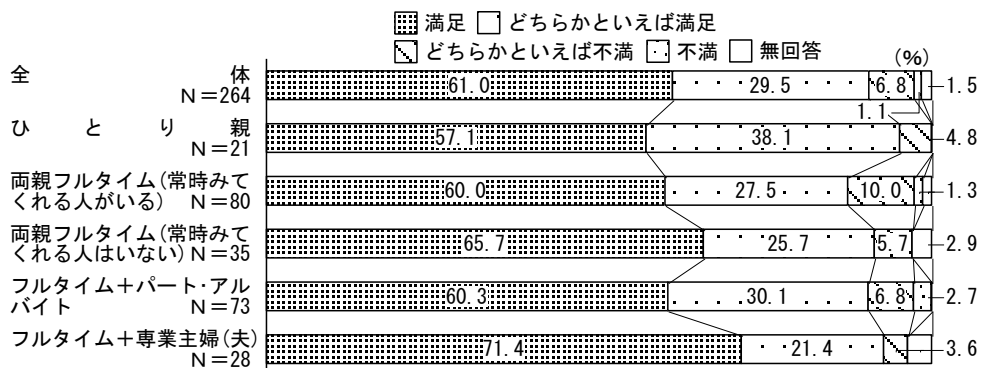
図 利用状況



(ウ) 満足度

歯科検診・フッ素塗布・ブラッシング指導を利用した人の満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）は90.5%でほとんどを占めており、家庭類型別にみると、各家庭類型ともに90%前後です。

図 満足度



(エ) 不満な理由

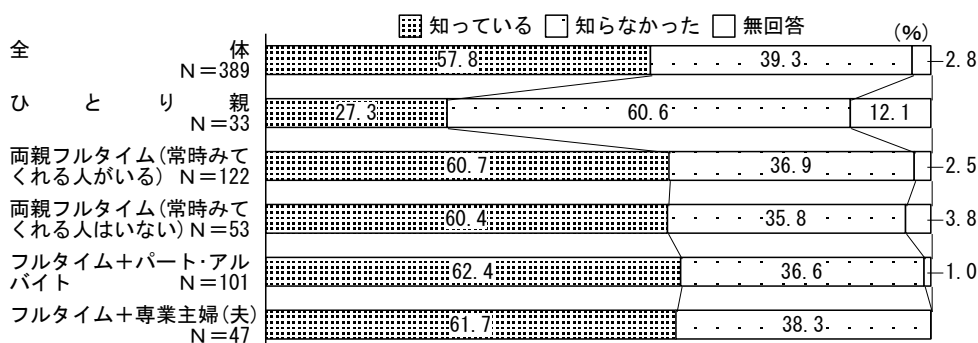
歯科検診・フッ素塗布・ブラッシング指導を利用した人で、「不満」または「どちらかといえば不満」と答えた人の不満な内容としては、フッ素塗布の回数が少ないこと、町外で歯科健診を受けることができないことなどが挙げられています。

オ マタニティスクール

(7) 認知状況

マタニティスクールを「知っている」と答えた人は57.8%で、家庭類型別にみると、ひとり親が27.3%で、他の家庭類型に比べて割合が非常に低くなっています。

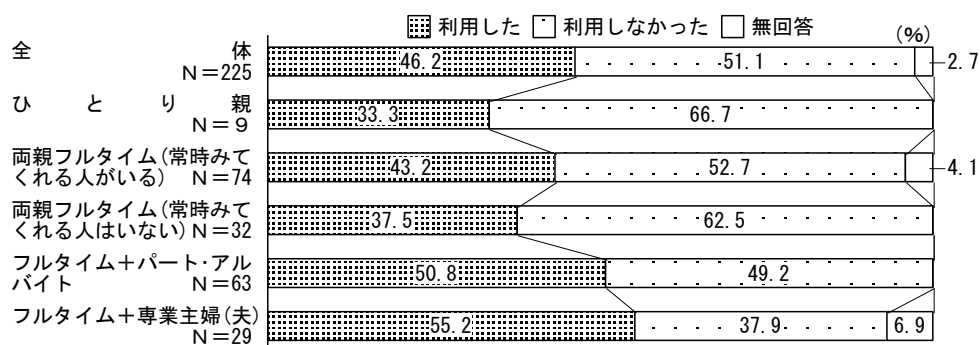
図 認知状況



(イ) 利用状況

マタニティスクールを「利用した」と答えた人は46.2%になっており、家庭類型別にみると、ひとり親33.3%、両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）37.5%で、これら家庭タイプの割合がやや低くなっています。

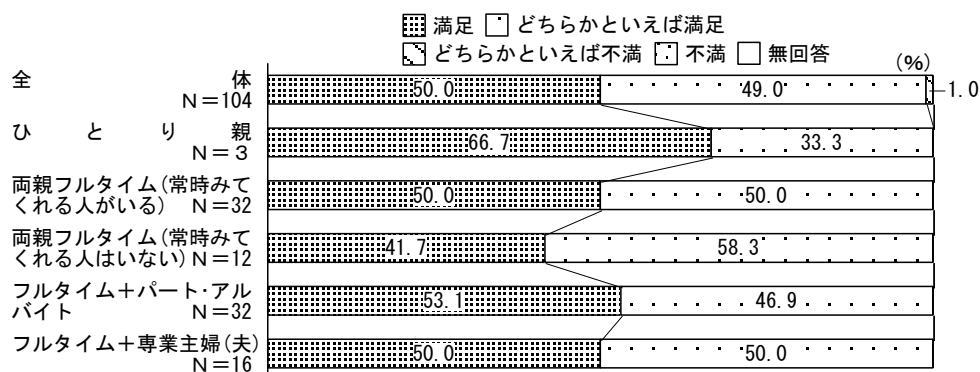
図 利用状況



(ウ) 満足度

マタニティスクールを利用した人の満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）は99.0%になっており、家庭類型別にみると、各家庭類型ともに同様の割合になっています。

図 満足度

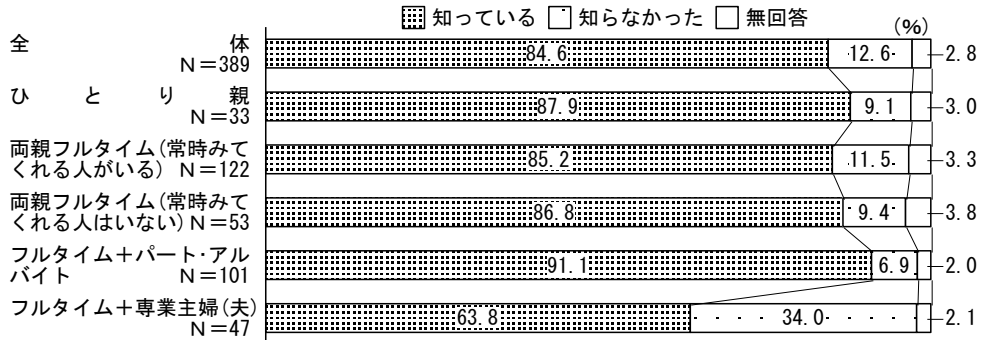


カ 子育て・定住支援事業

(7) 認知状況

子育て・定住支援事業を「知っている」と答えた人は84.6%でほとんどを占めており、家庭類型別にみると、フルタイム+専業主婦(夫)で63.8%と割合が低くなっています。

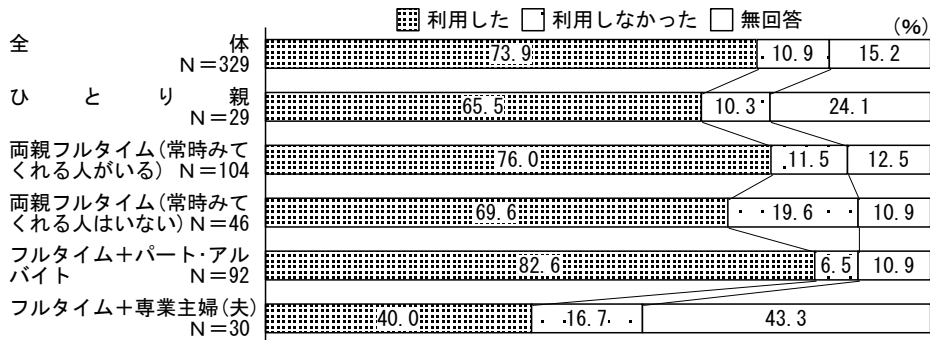
図 認知状況



(イ) 利用状況

子育て・定住支援事業を「利用した」と答えた人は73.9%になっており、家庭類型別にみると、フルタイム+専業主婦(夫)で40.0%と割合が低くなっています。

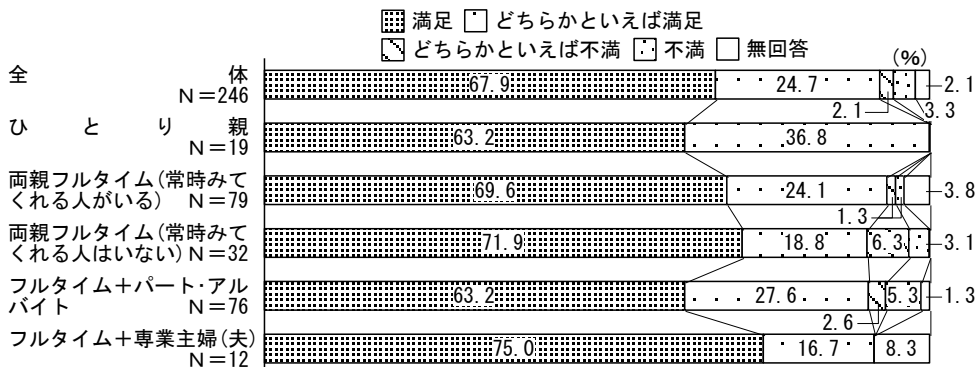
図 利用状況



(ウ) 満足度

子育て・定住支援事業を利用した人の満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）は92.6%になっており、家庭類型別にみると、各家庭類型ともに90%以上になっています。

図 満足度

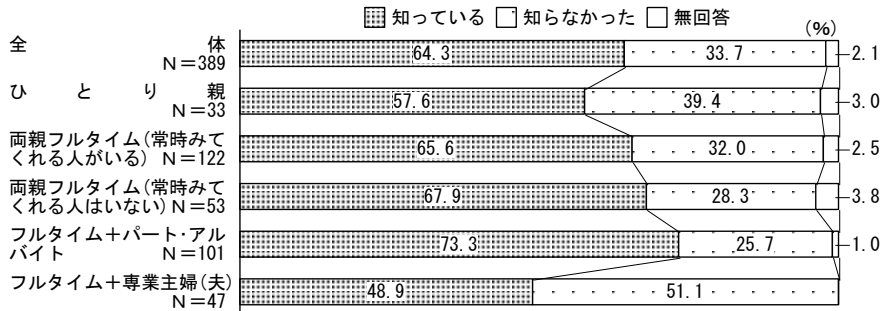


キ 神石さわやかネットやシルバー人材センターのサービス

(7) 認知状況

神石さわやかネットやシルバー人材センターのサービスを「知っている」と答えた人は64.3%で、家庭類型別にみると、フルタイム+専業主婦(夫)48.9%、ひとり親57.6%で、これらの家庭類型で割合が低くなっています。

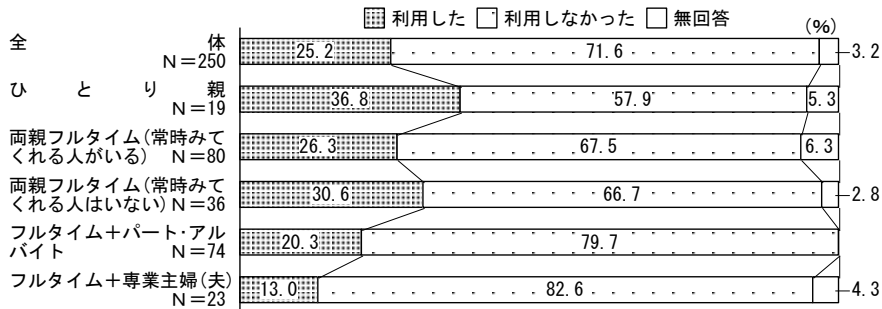
図 認知状況



(イ) 利用状況

神石さわやかネットやシルバー人材センターのサービスを「利用した」と答えた人は25.2%で、ひとり親で36.8%と割合が高い一方で、フルタイム+専業主婦(夫)で13.0%と割合が低くなっています。

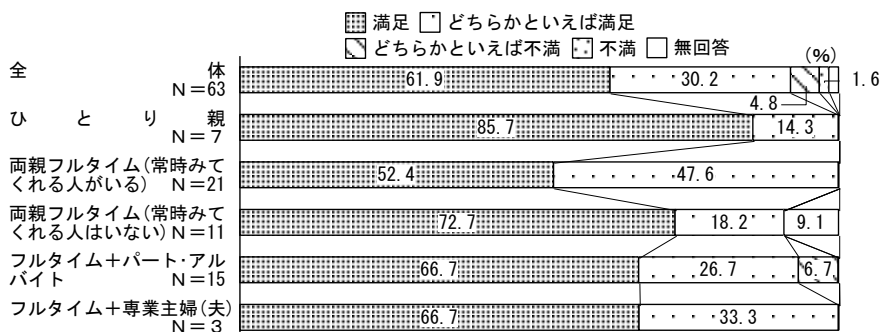
図 利用状況



(ウ) 満足度

神石さわやかネットやシルバー人材センターのサービス利用した人の満足度(「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合)は92.1%でほとんどを占めており、家庭類型別にみると、各家庭類型ともに90%以上になっています。

図 満足度





## ク 町が実施しているサービスの比較

町が実施しているサービスの認知状況をみると、乳幼児健診が95.4%で最も割合が高く、次いで歯科検診・フッ素塗布・ブラッシング指導91.8%、幼児等インフルエンザ予防接種補助事業86.4%、子育て・定住支援事業84.6%、離乳食教室・幼児食の個別相談71.7%、神石さわやかネットやシルバー人材センターのサービス64.3%、マタニティスクール57.8%の順です。

利用状況をみると、乳幼児健診が92.7%で最も割合が高く、次いで歯科検診・フッ素塗布・ブラッシング指導及び子育て・定住支援事業73.9%、幼児等インフルエンザ予防接種補助事業72.6%、離乳食教室・幼児食の個別相談60.9%、マタニティスクール46.2%、神石さわやかネットやシルバー人材センターのサービス25.2%の順です。

満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）をみると、マタニティスクールが99.0%で最も割合が高く、次いで離乳食教室・幼児食の個別相談94.1%、子育て・定住支援事業92.6%、神石さわやかネットやシルバー人材センターのサービス92.1%、歯科検診・フッ素塗布・ブラッシング指導90.5%、幼児等インフルエンザ予防接種補助事業85.3%、乳幼児健診83.1%の順です。

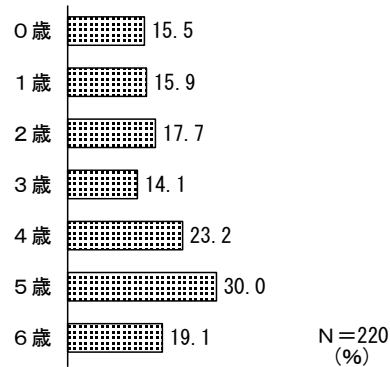
表 町が実施しているサービスの状況

区分	家庭類型	乳幼児健診	離乳食教室・幼児食の個別相談	幼児等インフルエンザ予防接種補助事業	歯科検診等	マタニティスクール	子育て・定住支援事業	神石さわやかネット等
認知状況	全体	95.4	71.7	86.4	91.8	57.8	84.6	64.3
	ひとり親	87.9	45.5	72.7	90.9	27.3	87.9	57.6
	両親フルタイム（常時みる人がいる）	96.7	70.5	90.2	95.1	60.7	85.2	65.6
	両親フルタイム（常時みる人がいない）	96.2	79.2	88.7	84.9	60.4	86.8	67.9
	フルタイム＋パート・アルバイト	97.0	72.3	93.1	94.1	62.4	91.1	73.3
	フルタイム＋専業主婦（夫）	93.6	80.9	72.3	80.9	61.7	63.8	48.9
利用状況	全体	92.7	60.9	72.6	73.9	46.2	73.9	25.2
	ひとり親	93.1	40.0	66.7	70.0	33.3	65.5	36.8
	両親フルタイム（常時みる人がいる）	94.9	62.8	70.0	69.0	43.2	76.0	26.3
	両親フルタイム（常時みる人がいない）	92.2	50.0	74.5	77.8	37.5	69.6	30.6
	フルタイム＋パート・アルバイト	93.9	64.4	78.7	76.8	50.8	82.6	20.3
	フルタイム＋専業主婦（夫）	84.1	65.8	67.6	73.7	55.2	40.0	13.0
満足度	全体	83.1	94.1	85.3	90.5	99.0	92.6	92.1
	ひとり親	85.2	66.6	75.0	95.2	100.0	100.0	100.0
	両親フルタイム（常時みる人がいる）	83.1	94.4	81.8	87.5	100.0	93.7	100.0
	両親フルタイム（常時みる人がいない）	89.4	100.0	82.8	91.4	100.0	90.7	90.9
	フルタイム＋パート・アルバイト	78.2	100.0	87.9	90.4	100.0	90.8	93.4
	フルタイム＋専業主婦（夫）	81.0	88.0	95.7	92.8	100.0	91.7	100.0

(5) 就学前の子どもの子育てについて

就学前の子どもがいる家庭の子どもの年齢は、「5歳」が30.0%で最も割合が高く、次いで「4歳」23.2%、「6歳」19.1%等の順で、0～3歳は15%前後です。

図 就学前の子どもがいる家庭の子どもの年齢（複数回答：いくつでも）



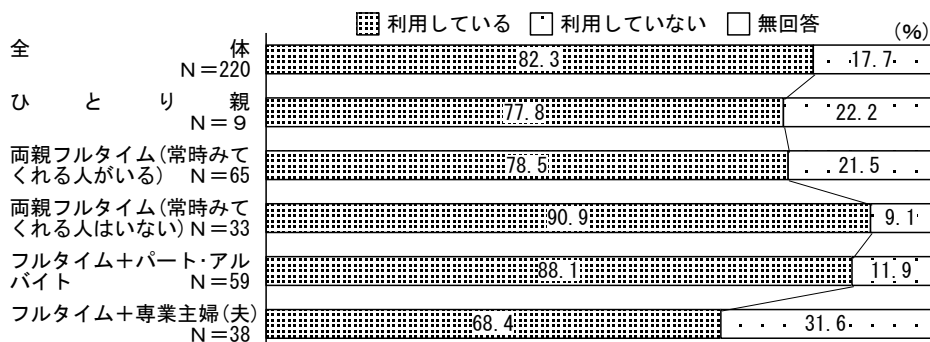
(5)-1 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

ア 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」と答えた人は82.3%で大部分を占めています。

家庭類型別に平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」と答えた人をみると、両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）が90.9%で最も割合が高く、次いでフルタイム＋パート・アルバイト88.1%，両親フルタイム（常時みてくれる人がいる）78.5%，ひとり親77.8%，フルタイム＋専業主婦（夫）68.4%の順です。

図 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

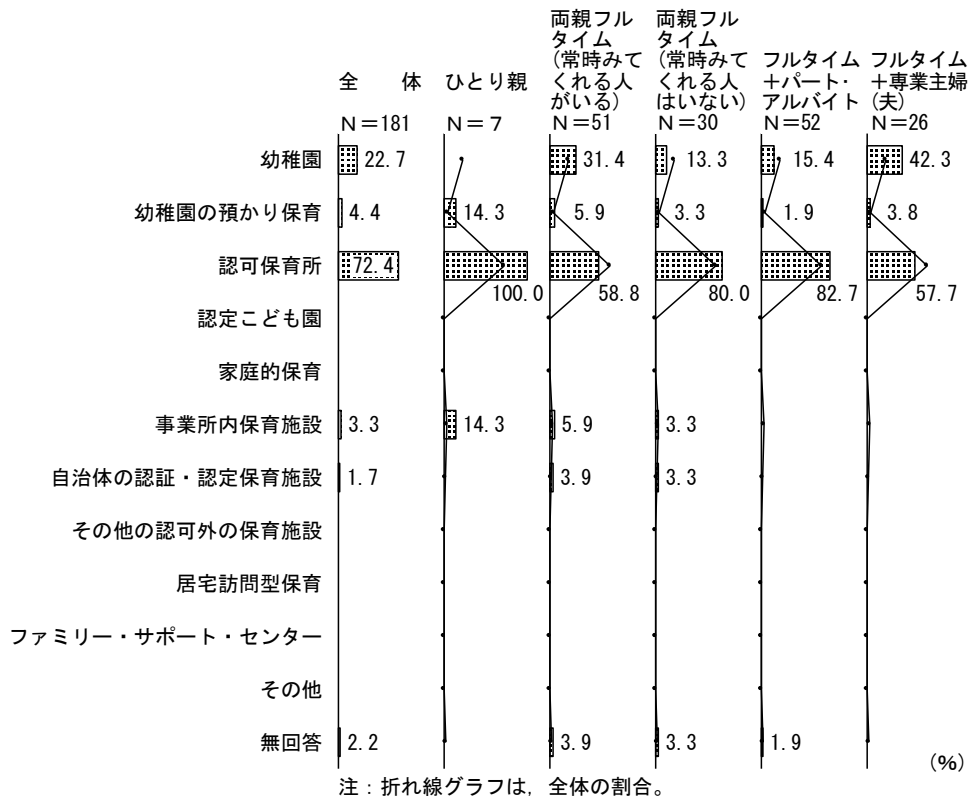


イ 年間を通じて平日の定期的な教育・保育事業を利用している人の状況

(7) 教育・保育事業の内容

教育・保育事業の内容をみると、「認可保育所」と答えた人が72.4%で最も割合が高く、次いで「幼稚園」22.7%等の順になっており、フルタイム+専業主婦(夫)を除く各家庭類型ともに同様の割合になっています。フルタイム+専業主婦(夫)では「幼稚園」が42.3%と割合が高くなっています。

図 教育・保育事業の内容（複数回答：いくつでも）



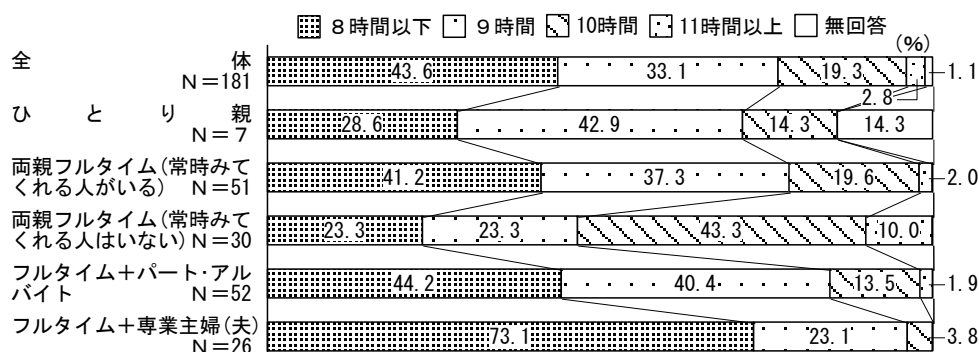
(イ) 教育・保育事業の具体的な利用状況

① 1日当たりの利用時間

1日当たりの利用時間は、「8時間以下」と答えた人が43.6%で最も割合が高く、次いで「9時間」33.1%、「10時間」19.3%、「11時間以上」2.8%の順です。

家庭類型別に1日当たりの利用時間をみると、フルタイム+専業主婦(夫)では「8時間以下」の割合が約3/4と大部分を占めています。

図 1日当たりの利用時間

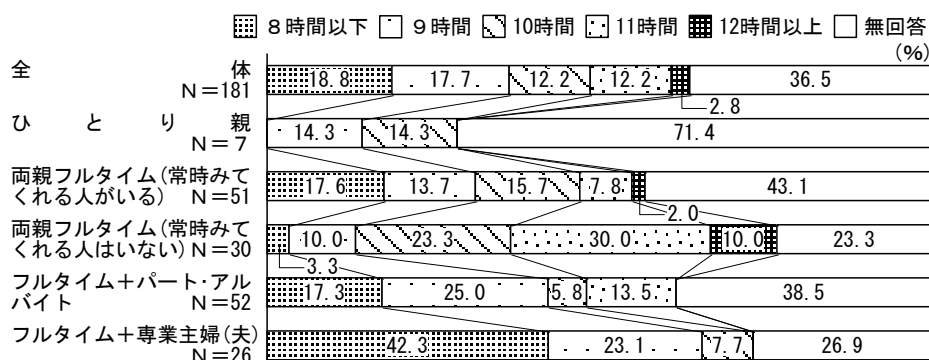


② 1日当たりの利用希望時間

1日当たりの利用希望時間は、「8時間以下」と答えた人が18.8%で最も割合が高く、次いで「9時間」17.7%、「10時間」及び「11時間」12.2%の順になっており、現在の利用時間に比べて、利用希望時間が長くなっています。

家族類型別にみると、各家族類型ともに現在の利用時間に比べて利用希望時間が長くなっています。

図 1日当たりの利用希望時間

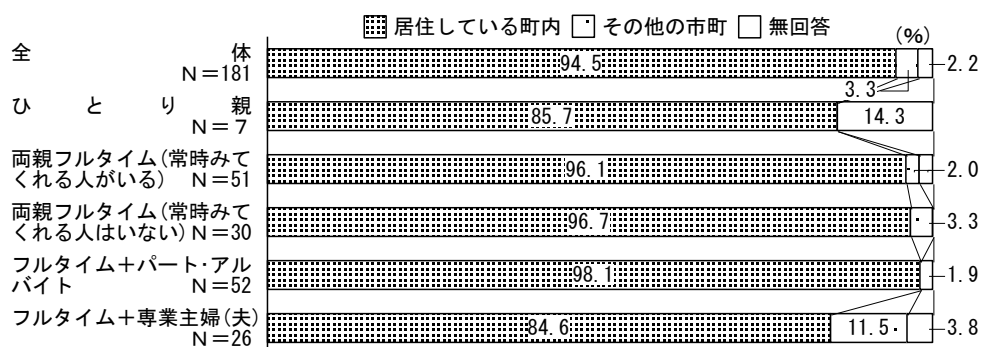


(ウ) 教育・保育事業の実施場所

教育・保育事業の実施場所は、「居住している町内」と答えた人が94.5%でほとんどを占めています。

家庭類型別に教育・保育事業の実施場所として「居住している町内」と答えた人をみると、ひとり親とフルタイム+専業主婦(夫)で80%台と割合がやや低くなっており、ひとり親は勤務先の市町、フルタイム+専業主婦(夫)は町外の幼稚園に預けているものと考えられます。

図 教育・保育事業の実施場所

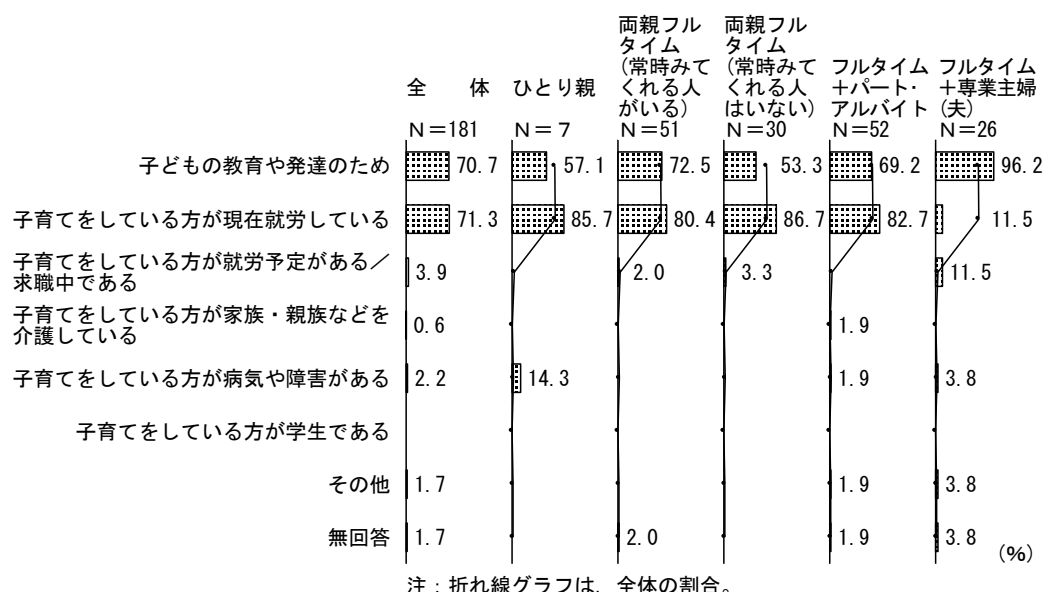


(エ) 教育・保育事業を利用している理由

教育・保育事業を利用している理由としては、「子育てをしている方が現在就労している」と答えた人が71.3%で最も割合が高く、次いで「子どもの教育や発達のため」70.7%等の順で、この2項目を挙げた人の割合が高くなっています。

家庭類型別に平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由をみると、フルタイム+専業主婦(夫)以外の家庭類型では全体と同様に2項目の割合が高くなっている一方、フルタイム+専業主婦(夫)では「子どもの教育や発達のため」のみを答えた人がほとんどを占めています。

図 教育・保育事業を利用している理由 (複数回答：いくつでも)

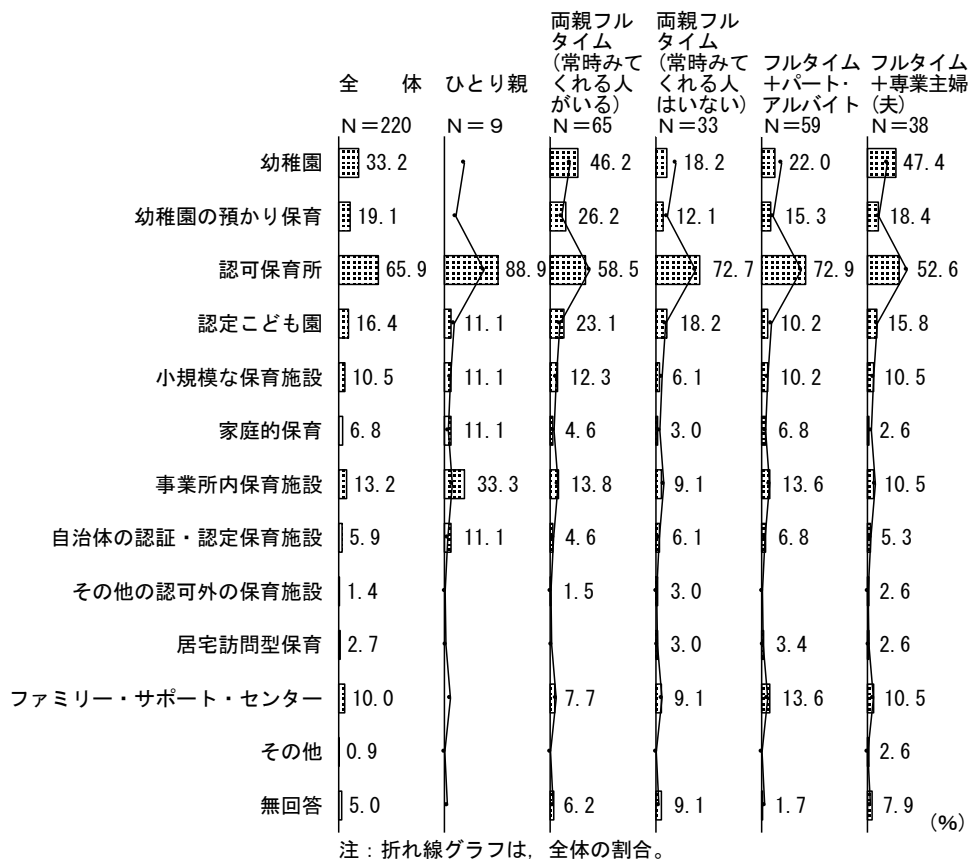


### ウ 平日の教育・保育として定期的にご利用したい事業

平日の教育・保育として定期的にご利用したい事業は、「認可保育所」と答えた人が65.9%で最も割合が高く、次いで「幼稚園」33.2%、「幼稚園の預かり保育」19.1%、「認定子ども園」16.4%、「事業所内保育施設」13.2%、「小規模な保育施設」10.5%等の順です。

家庭類型別に平日の教育・保育として定期的にご利用したい事業をみると、両親フルタイム（常時みてくれる人がいる）及びフルタイム＋専業主婦（夫）では、「認可保育所」50%台、「幼稚園」40%台と、この2事業が比較的拮抗した割合になっており、両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）とフルタイム＋パート・アルバイトでは「認可保育所」が70%台、「幼稚園」が20%前後と「認可保育所」の割合が高くなっています。ひとり親では「認可保育所」が88.9%とほとんどを占めているほか、「事業所内保育施設」が33.0%になっています。

図 平日の教育・保育として定期的にご利用したい事業（複数回答：いくつでも）

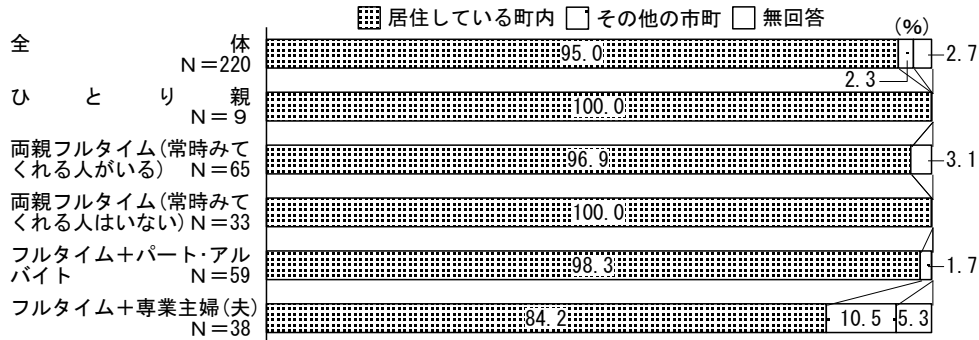


## エ 平日の教育・保育事業を利用したい場所

平日の教育・保育事業を利用したい場所は、「居住している町内」と答えた人が95.0%でほとんどを占めています。

家庭類型別に平日の教育・保育事業を利用したい場所に「居住している町内」と答えた人をみると、フルタイム+専業主婦(夫)以外の家庭類型では全体と同様に95%以上になっています。一方、フルタイム+専業主婦(夫)では84.2%と割合がやや低くなっており、一部の人で町外の幼稚園に通所させる意向があります。

図 平日の教育・保育事業を利用したい場所



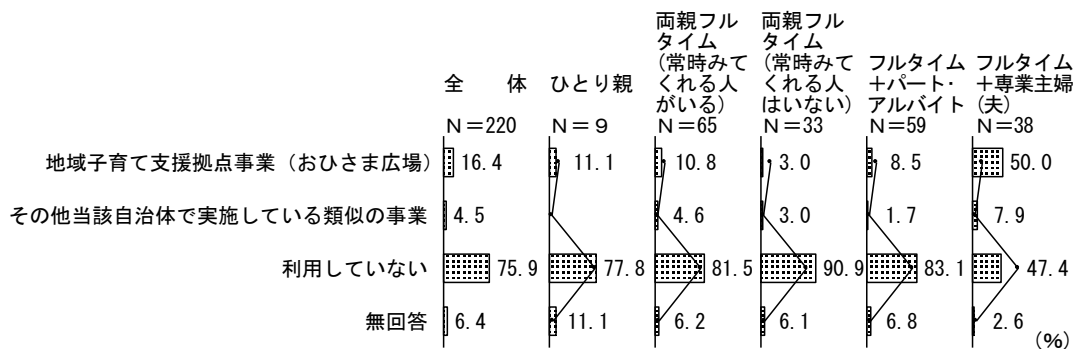
## (5)-2 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

### ア 地域子育て支援拠点事業の利用状況

地域子育て支援拠点事業（おひさま広場）を利用している人は16.4%です。

家庭類型別に地域子育て支援拠点事業（おひさま広場）を利用している人をみると、フルタイム+専業主婦(夫)が50.0%で最も割合が高く、次いでひとり親11.1%、両親フルタイム（常時みてくれる人がいる）10.8%、フルタイム+パート・アルバイト8.5%、両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）3.0%の順です。

図 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答：いくつでも）



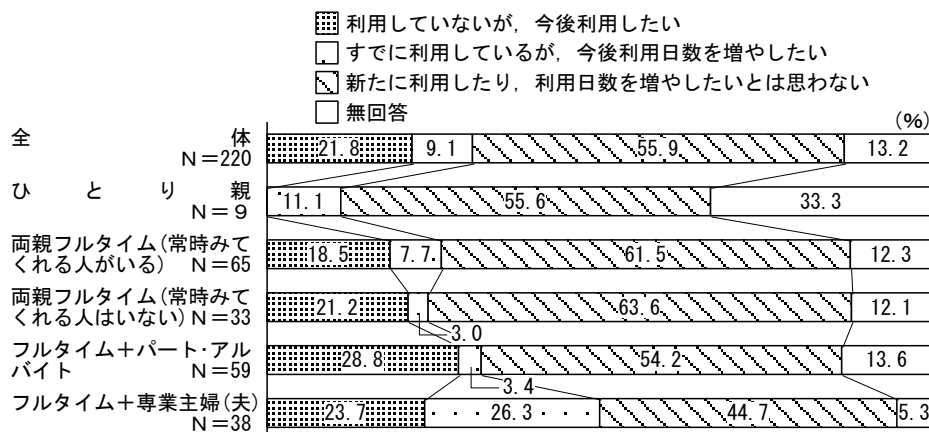
注：折れ線グラフは、全体の割合。

### イ 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向をみると、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」9.1%、「利用していないが、今後利用したい」21.8%で、これらを合わせた利用意向のある人は約3割です。

家庭類型別に地域子育て支援拠点事業を今後利用する意向のある人をみると、フルタイム+専業主婦(夫)が50.0%で最も割合が高く、次いでフルタイム+パート・アルバイト32.2%、両親フルタイム(常時みてくれる人がいる)26.2%、両親フルタイム(常時みてくれる人はいない)24.2%、ひとり親11.1%の順です。

図 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



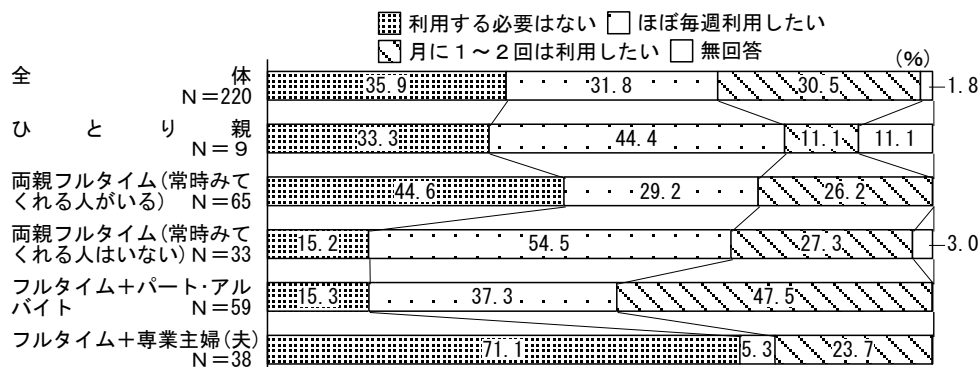
### (5)-3 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について

#### ア 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「ほぼ毎週利用したい」31.8%、「月に1～2回利用はしたい」30.5%で、これらを合わせた6割以上の人が利用意向を持っています。

家庭類型別に土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「ほぼ毎週利用したい」と答えた人が両親フルタイム(常時みてくれる人はいない)で54.5%、ひとり親で44.4%になっています。また、「月に1～2回は利用したい」と答えた人はフルタイム+パート・アルバイトで47.5%になっています。

図 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向



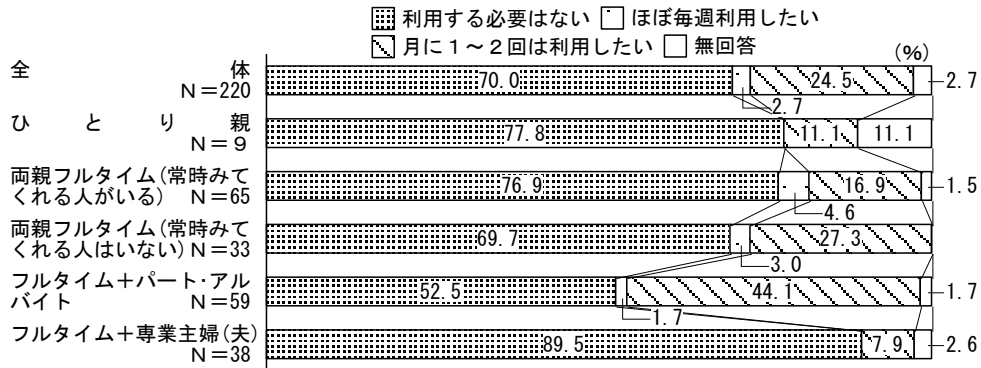


### イ 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「ほぼ毎週利用したい」2.7%、「月に1～2回は利用したい」24.5%で、これらを合わせた3割弱の人が利用意向を持っています。

家庭類型別に日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業を「月に1～2回は利用したい」と答えた人みると、フルタイム+パート・アルバイトで44.1%と割合が高くなっています。

図 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

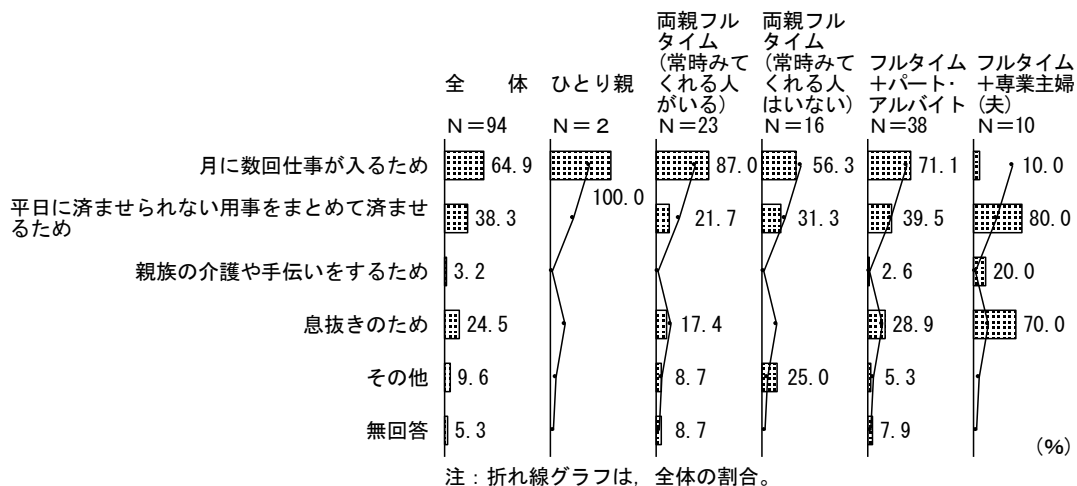


### ウ 土曜・日祝日に教育・保育事業をたまに利用したい理由

土曜・日祝日に教育・保育事業をたまに利用したい理由としては、「月に数回仕事が入るため」と答えた人が64.9%で最も割合が高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」38.3%、「息抜きのため」24.5%等の順です。

家庭類型別にみると、フルタイム+専業主婦(夫)以外では「月に数回仕事が入るため」と答えた人の割合が高い一方で、フルタイム+専業主婦(夫)では「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」及び「息抜きのため」の割合が高くなっています。

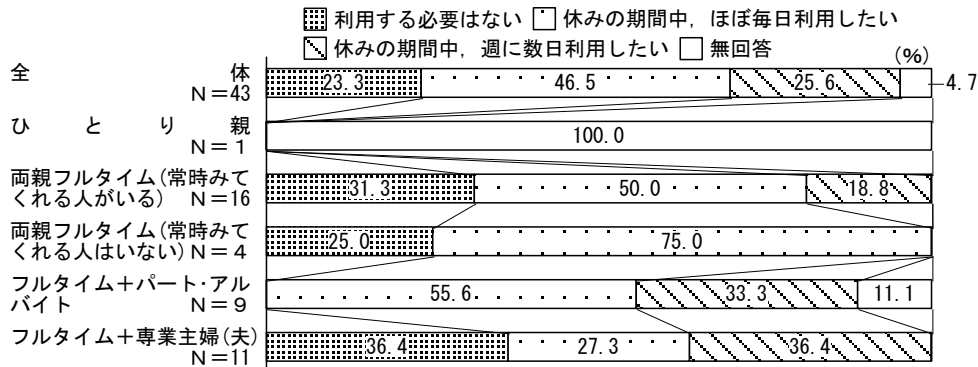
図 土曜・日祝日に教育・保育事業をたまに利用したい理由（複数回答：いくつでも）



エ 幼稚園を利用している人の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向

幼稚園を利用している人の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」46.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」25.6%で、長期休暇中に教育・保育事業を利用する意向のある人は7割以上です。

図 幼稚園を利用している人の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向



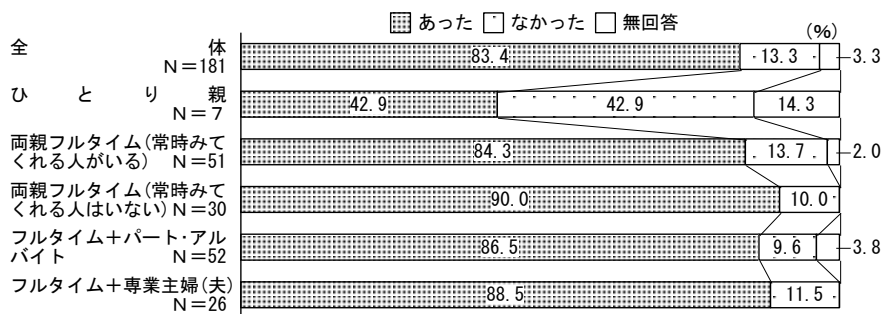
(5)-4 病気の際の対応について（平日に定期的な教育・保育事業を利用している人）

ア 病気やけがで通常の教育・保育事業を利用できなかったことの有無

病気やけがで通常の教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」と答えた人は83.4%で大部分を占めています。

家庭類型別に病気やけがで通常の教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」と答えた人をみると、ひとり親以外の家庭類型では90%前後で全体とほぼ同様になっています。

図 病気やけがで通常の教育・保育事業を利用できなかったことの有無

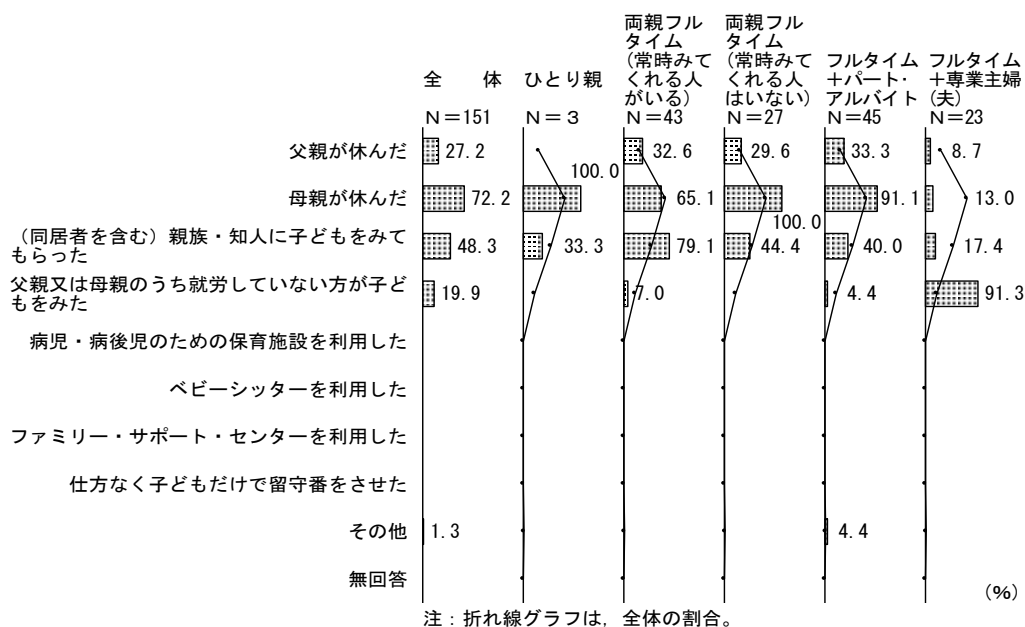


## イ 病気やけがで通常の教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法

病気やけがで通常の教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法は、「母親が休んだ」と答えた人が72.2%で最も割合が高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」48.3%、「父親が休んだ」27.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」19.9%等の順です。

家庭類型別に病気やけがで通常の教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法をみると、フルタイム+専業主婦(夫)では「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」91.3%、両親フルタイム(常時みてくれる人がいる)では「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」及び「母親が休んだ」の2項目が70%前後、両親フルタイム(常時みてくれる人はいない)及びフルタイム+パート・アルバイトでは「母親が休んだ」90%以上、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」40%台となっており、家庭類型によって対処方法が異なります。

図 病気やけがで通常の教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法  
(複数回答:いくつでも)

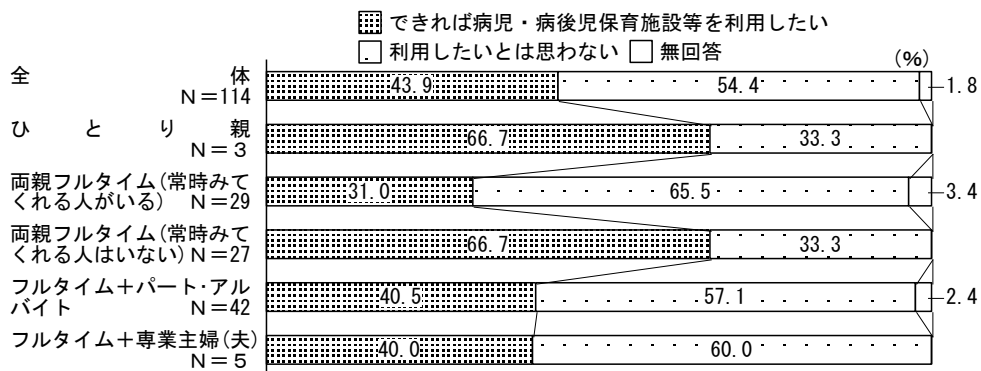


ウ 病児・病後児保育施設等の利用意向

病気やけがで通常の教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法として「父親が休んだ」あるいは「母親が休んだ」と答えた人で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と答えた人は43.9%です。

家庭類型別に「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と答えた人をみると、ひとり親及び両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）で66.7%と割合が高くなっています。

図 病児・病後児保育施設等の利用意向

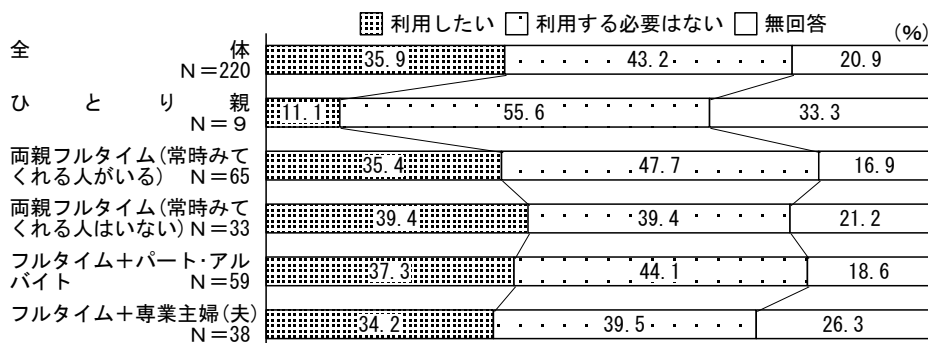


(5)-5 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

ア 私用等での不特定の教育・保育事業の利用意向

私用等での不特定の教育・保育事業を「利用したい」と答えた人は35.9%になっており、家庭類型別にみると、ひとり親以外の家庭類型では30%台である一方、ひとり親は11.1%と割合が低くなっています。

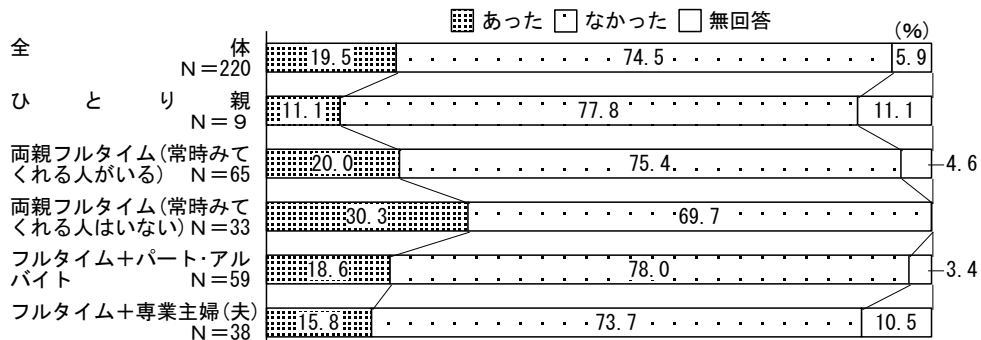
図 私用等での不特定の教育・保育事業の利用意向



イ 用事により子どもを泊まりがけでみてもらう必要の有無

用事により子どもを泊まりがけでみてもらう必要が「あった」と答えた人は19.5%になっており、家庭類型別にみると、両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）が30.3%で最も割合が高く、次いで両親フルタイム（常時みてくれる人がいる）20.0%，フルタイム+パート・アルバイト18.6%，フルタイム+専業主婦(夫)15.8%，ひとり親11.1%の順です。

図 用事により子どもを泊まりがけでみてもらう必要の有無



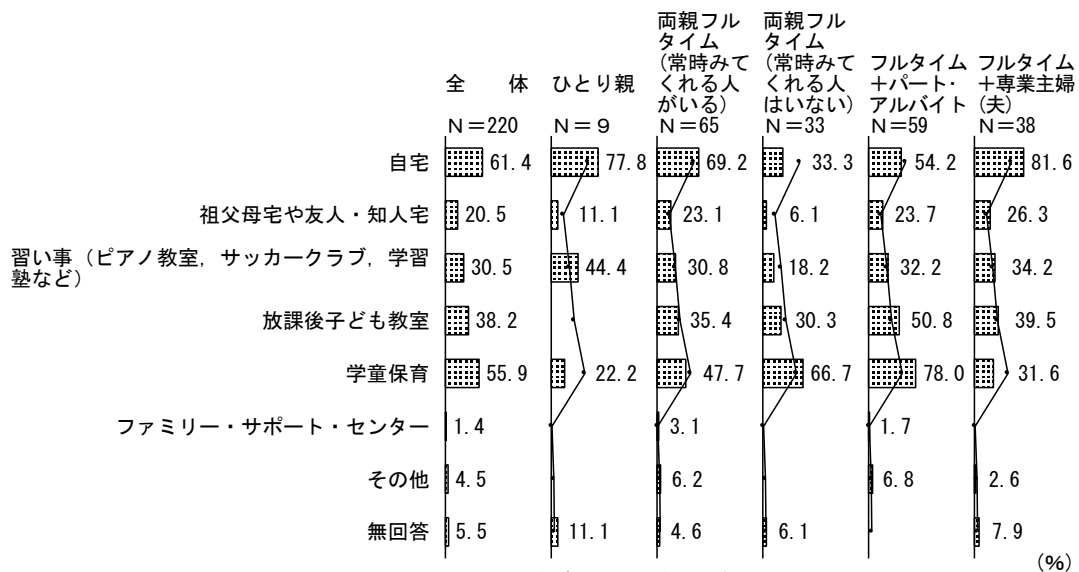
(5)-6 小学生になった時の放課後の過ごし方について

ア 小学校低学年の時に放課後過ごさせたい場所

小学校低学年の時に放課後過ごさせたい場所は、「自宅」と答えた人が61.4%で最も割合が高く、次いで「学童保育」55.9%，「放課後子ども教室」38.2%，習い事（ピアノ教室，サッカークラブ，学習塾など）30.5%，「祖父母宅や友人・知人宅」20.5%等の順です。

家庭類型別に小学校低学年の時に放課後過ごさせたい場所をみると、ひとり親，両親フルタイム（常時みてくれる人がいる）及びフルタイム+専業主婦(夫)では「自宅」，両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）及びフルタイム+パート・アルバイトでは「学童保育」と答えた人の割合が高くなっています。

図 小学校低学年の時に放課後過ごさせたい場所（複数回答：いくつでも）



注：折れ線グラフは、全体の割合。

### イ 小学校高学年の時に放課後過ごさせたい場所

小学校高学年の時に放課後過ごさせたい場所としては、「自宅」と答えた人が67.7%で最も割合が高く、次いで「学童保育」47.3%、「習い事（ピアノ教室，サッカークラブ，学習塾など）」37.3%、「放課後子ども教室」35.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」19.5%等の順です。

家庭類型別に小学校高学年の時に放課後過ごさせたい場所をみると，両親フルタイム（常時みてくれる人がいる）及びフルタイム＋専業主婦（夫）では「自宅」，両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）及びフルタイム＋パート・アルバイトでは「学童保育」と答えた人の割合が高くなっています。ひとり親では「自宅」と合わせて「習い事（ピアノ教室，サッカークラブ，学習塾など）」の割合が高くなっています。

放課後過ごさせたい場所を小学校低学年と高学年で比較すると，小学校低学年では学童保育，小学校高学年では自宅の割合がそれぞれ高くなっています。

図 小学校高学年の時に放課後過ごさせたい場所（複数回答：いくつでも）

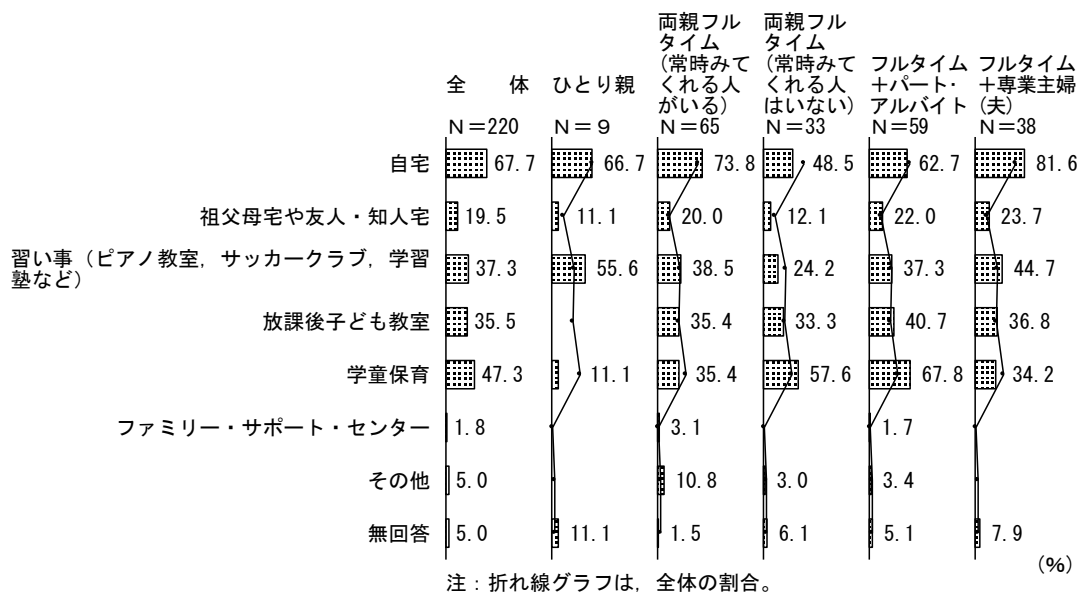


表 小学生になった時に放課後過ごさせたい場所

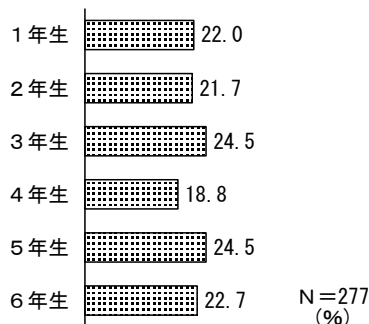
項目	小学校低学年	小学校高学年
自宅	61.4	67.7
祖父母や友人・知人宅	20.5	19.5
習い事 (ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾など)	30.5	37.3
放課後子ども教室	38.2	35.5
学童保育	55.9	47.3
ファミリー・サポート・センター	1.4	1.8
その他	4.5	5.0

(6) 小学生の子どもの子育てについて

ア 小学生の子どもがいる家庭の子どもの学年

小学生の子どもがいる家庭の子どもの学年は、各学年20%前後です。

図 小学生の子どもがいる家庭の子どもの学年（複数回答：いくつでも）



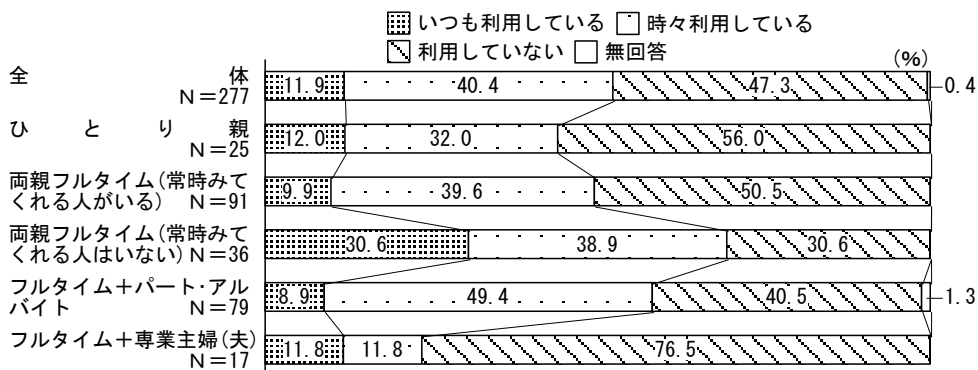
イ 学童保育の利用の有無

学童保育を「いつも利用している」11.9%、「時々利用している」40.4%で、これらを合わせた学童保育を利用している人の割合は5割以上になっています。

家庭類型別に学童保育を「いつも利用している」と答えた人をみると、両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）が30.6%で最も割合が高く、その他の家庭類型では10%前後になっています

また、家庭類型別に学童保育を「時々利用している」と答えた人をみると、フルタイム+専業主婦(夫)を除く家庭類型では40%前後ですが、フルタイム+専業主婦(夫)では11.8%と割合が低くなっています。

図 学童保育の利用の有無

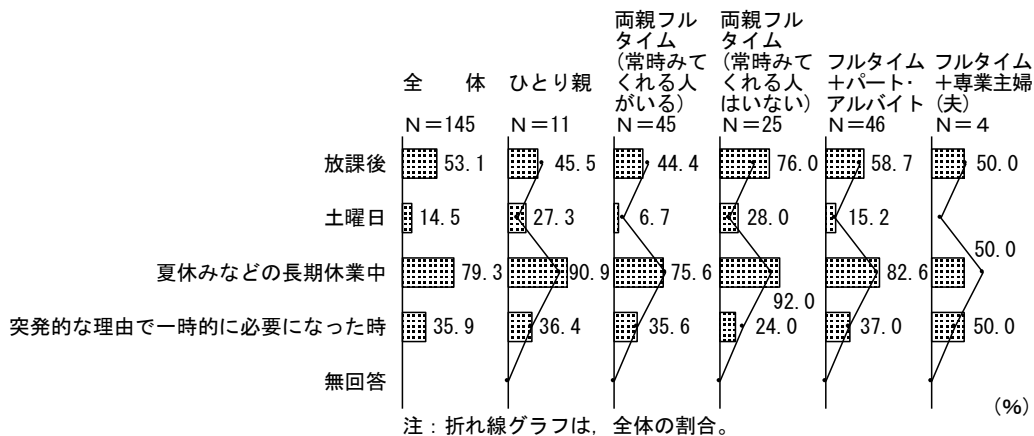


ウ 学童保育を利用している人の利用状況等

(7) 学童保育の利用状況

学童保育の利用状況は、「夏休みなどの長期休業中」と答えた人が79.3%で最も割合が高く、次いで「放課後」53.1%、「突発的な理由で一時的に必要な時」35.9%、「土曜日」14.5%の順です。

図 学童保育の利用状況（複数回答：いくつでも）

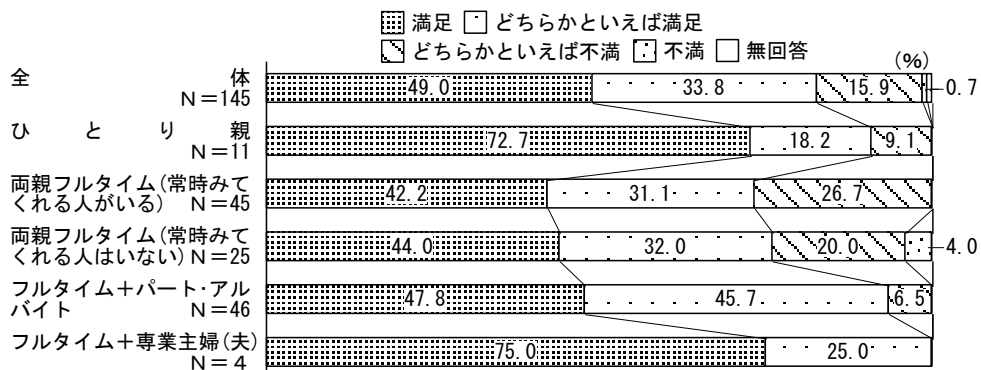


(イ) 学童保育の満足度

学童保育の満足度は、「満足」49.0%、「どちらかといえば満足」33.8%になっており、これらを合わせた学童保育に満足している人の割合は82.8%で大部分を占めています

家庭類型別に学童保育に満足している人をみると、フルタイム+専業主婦(夫)、フルタイム+パート・アルバイト及びひとり親では90%以上ですが、両親フルタイム(常時みてくれる人がある)及び両親フルタイム(常時みてくれる人はいない)では70%台と割合が低くなっています。

図 学童保育の満足度



(ウ) 学童保育に不満な理由

学童保育に不満な理由としては、学童保育の開所時間、指導員に関する事、子どもの友達関係などが挙げられています。



## エ 学童保育を利用していない人の理由等

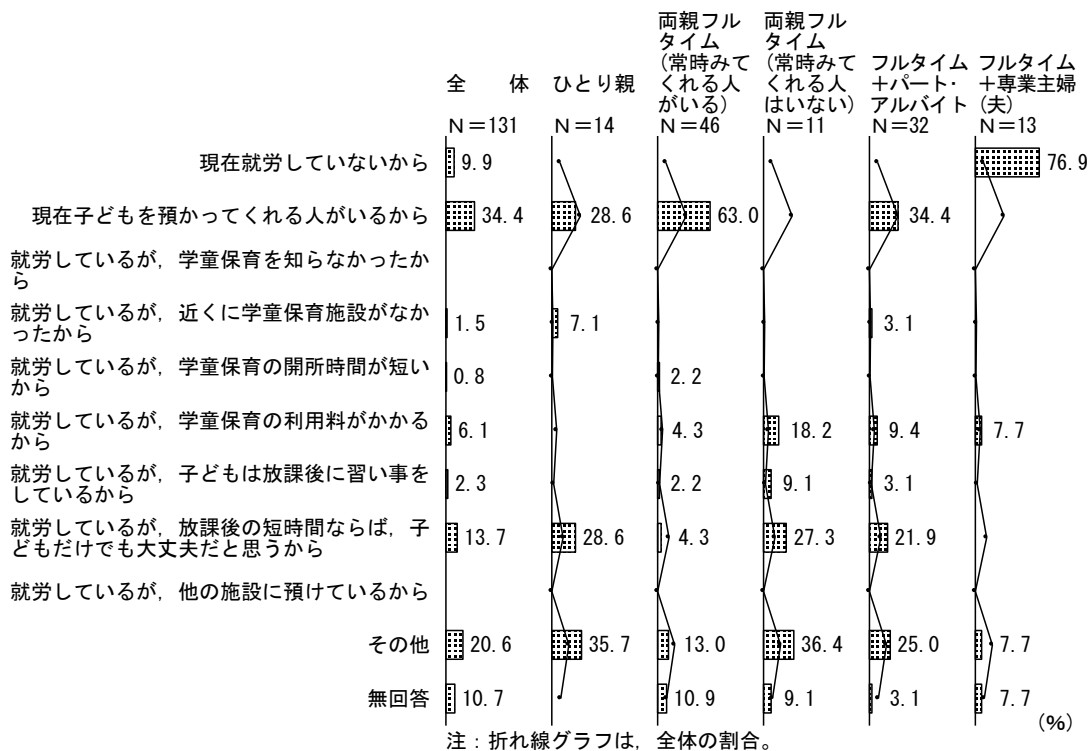
### (7) 学童保育を利用していない理由

学童保育を利用していない理由としては、「現在子供を預かってくれる人がいるから」と答えた人が34.4%で最も割合が高く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」13.7%、「現在就労していないから」9.9%等の順です。

その他の理由としては、家に誰かいるので子どもの世話ができることを挙げた人が14件で最も多く、その他では迎えに行くことができないこと、スクールバスを利用していること、子どもが行く気がないこと等が挙げられています。

家庭類型別に学童保育を利用していない理由をみると、ひとり親、両親フルタイム（常時みてくれる人がいる）及び両親フルタイム（常時みてくれる人はいない）では、「現在子供を預かってくれる人がいるから」及び「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」、フルタイム＋パート・アルバイトでは「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」、フルタイム＋専業主婦（夫）では、「現在就労していないから」の割合が高くなっています。

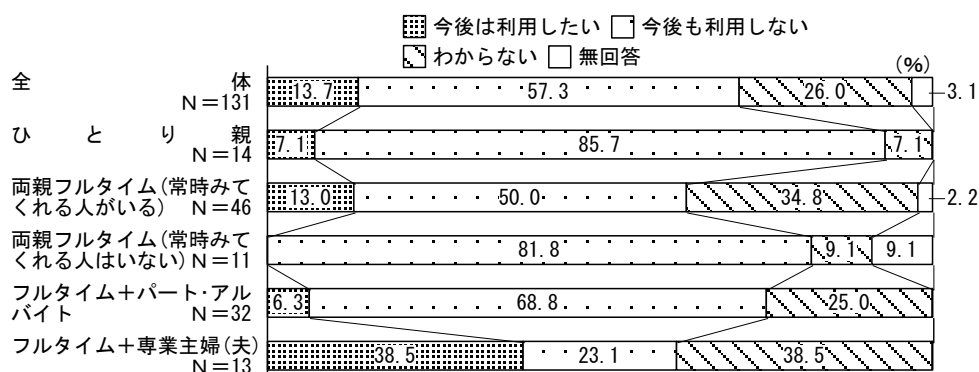
図 学童保育を利用していない理由（複数回答：いくつでも）



(イ) 学童保育の今後の利用意向

学童保育の今後の利用意向については、「今後は利用したい」と答えた人が13.7%です。家庭類型別に「今後は利用したい」と答えた人をみると、フルタイム+専業主婦(夫)が38.5%で最も割合が高く、次いで両親フルタイム(常時みてくれる人がいる)13.0%、ひとり親7.1%、フルタイム+パート・アルバイト6.3%の順です。

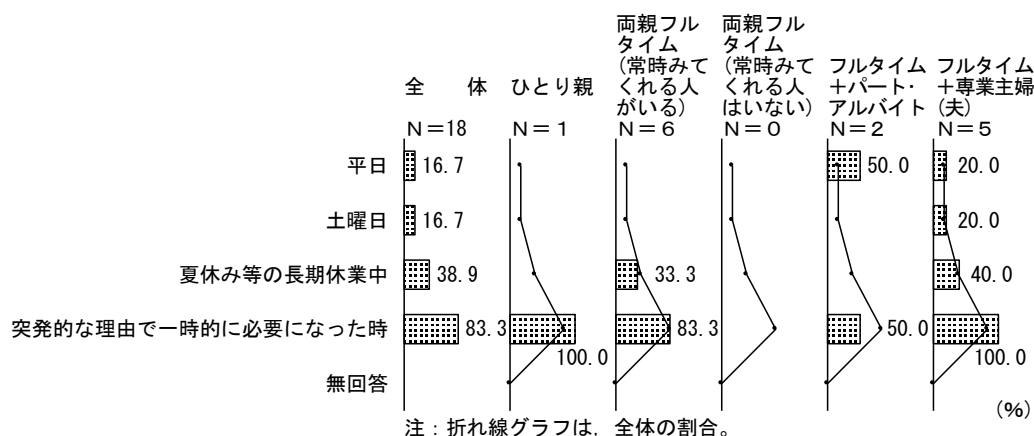
図 学童保育の今後の利用意向



(ウ) 学童保育を今後利用したい状況

学童保育を今後利用したい状況は、「突発的な理由で一時的に必要な時」と答えた人が83.3%で最も割合が高く、次いで「夏休み等の長期休業中」38.9%、「土曜日」及び「日曜日」16.7%の順です。

図 学童保育を今後利用したい状況 (複数回答：いくつでも)

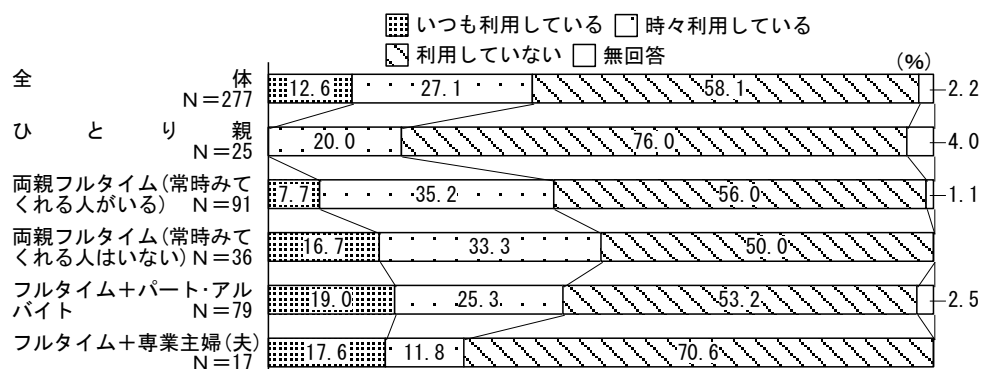


## オ 放課後子ども教室の利用の有無

放課後子ども教室を「いつも利用している」12.6%、「時々利用している」27.1%で、これらを合わせた放課後子ども教室を利用している人は約4割です。

家庭類型別に放課後子ども教室を利用している人を見ると、両親フルタイム（常時みてる人はいない）が50.0%で最も割合が高く、次いでフルタイム+パート・アルバイト44.3%、両親フルタイム（常時みてる人がいる）42.9%、フルタイム+専業主婦(夫)29.4%、ひとり親20.0%の順です。

図 放課後子ども教室の利用の有無

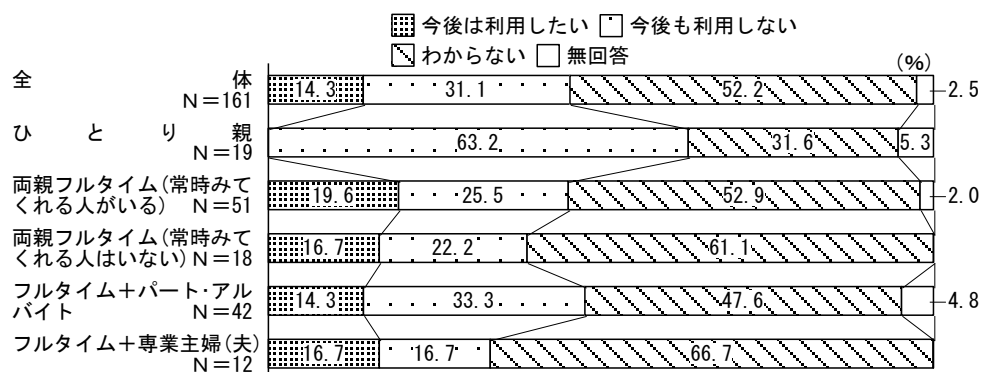


## カ 放課後子ども教室を利用していない人の今後の利用意向及び利用したい状況

### (7) 放課後子ども教室の今後の利用意向

放課後子ども教室を利用していない人の今後の利用意向については、「今後は利用したい」と答えた人が14.3%になっており、家庭類型別にみると、ひとり親の利用意向はないが、その他の家庭類型では10%台になっています。

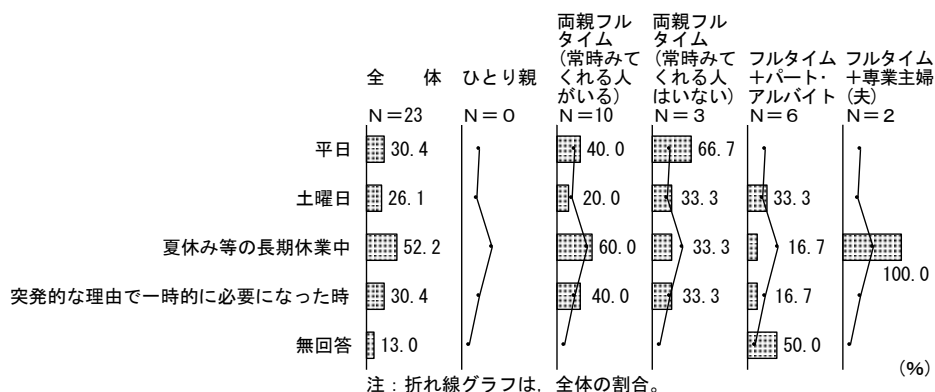
図 放課後子ども教室を利用していない人の今後の利用意向



(イ) 放課後子ども教室を今後利用したい状況

放課後子ども教室を今後利用したい状況としては、「夏休み等の長期休業中」と答えた人が52.2%で最も割合が高く、次いで「突発的な理由で一時的に必要な時」及び「平日」30.4%、「土曜日」26.1%の順です。

図 放課後子ども教室を今後利用したい状況（複数回答：いくつでも）



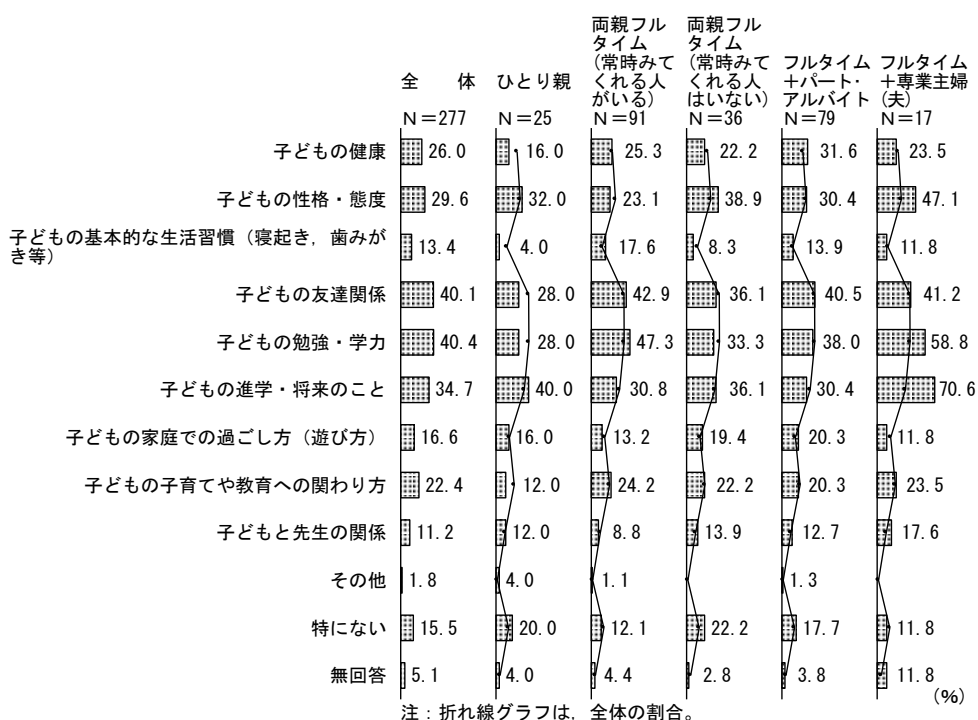
キ 小学生の子どもの子育てや教育のことでの不安や悩み

小学生の子どもの子育てや教育のことでの不安や悩みがある人（100%から「特にないと」と無回答の割合を差し引いた値）は79.4%です。

小学生の子どもの子育てや教育のことでの不安や悩みの内容は、「子どもの勉強・学力」と答えた人が40.4%で最も割合が高く、次いで「子どもの友達関係」40.1%、「子どもの進学・将来のこと」34.7%、「子どもの性格・態度」29.6%、「子どもの健康」26.0%、「子どもの子育てや教育への関わり方」22.4%等の順です。

家庭類型別に小学生の子どもの子育てや教育のことでの不安や悩みの内容をみると、フルタイム+専業主婦(夫)を除く家庭類型では全体と同様の割合となっています。フルタイム+専業主婦(夫)では、「子どもの進学・将来のこと」、「子どもの勉強・学力」及び「子どもの性格・態度」の割合が全体より高くなっています。

図 小学生の子どもの子育てや教育のことでの不安や悩み（複数回答：いくつでも）



(7) 自由意見

自由意見を記入した人は129人、回答者数の33.2%になっており、自由意見の内容を項目別に整理すると188件です。

その内容をみると、保育所の保育時間、小中学校、学童保育、既存の子育て支援サービスなどについての意見が多くなっています。

表 自由意見の内容

大区分	小区分	件数 (件)
ア 保育所の保育時間について	(ア) 平日の保育時間の延長の希望	5
	(イ) 土曜日の午後及び日祝日の保育の希望	14
	(ウ) 病児・病後児保育の希望	6
	(エ) その他（保育の充実等）	6
	小 計	31
イ 小中学校に関すること	(ア) 登下校に関すること	5
	(イ) 先生の相談・指導の充実	7
	(ウ) その他（登校時の坂等）	6
	小 計	18
ウ 学童保育について	(ア) 平日の保育時間延長の希望	2
	(イ) 土曜日・日祝日の保育の希望	9
	(ウ) 学童保育の内容の充実	5
	(エ) 学童保育の場所の希望（小学校区単位等）	7
	(オ) その他（友達関係、弁当の宅配サービス希望等）	4
	小 計	27
エ 放課後子ども教室について	・利用継続意向、新規利用希望、小学校区単位の設置	3
オ 習い事・塾について	・町内への習い事・塾の充実	4
カ 子どもの遊び場について	・身近な場所への公園の整備、室内で遊べる場所の整備等	10
キ 既存の子育て支援サービスについて	(ア) 子育て・定住支援事業	5
	(イ) 予防接種	4
	(ウ) 神石さわやかネットやシルバー人材センターのサービス	3
	(エ) 歯科検診	4
	(オ) その他（各種サービスを評価する意見等）	8
小 計	24	
ク その他の子育て支援サービスに係る要望	・子育て支援サービスの充実、図書館の開所時間の延長、保護者のストレスの解消等	9
ケ 医療機関について	・町内への小児科の設置等	8
コ 子育てしやすい職場環境及び仕事の確保について	・職場の育休の充実、就労支援の手引きの配布、求人情報の提、新規就労への不安等	10
サ アンケート調査について	(ア) アンケート調査結果の施策への反映	6
	(イ) アンケート調査内容について	7
	小 計	13
シ その他		31
合 計		188